



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成28年6月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成28年3月	平成28年6月	前回調査比
茨城県	44.9	43.3	△1.6
県北地域	44.9	42.7	△2.2
県央地域	43.0	40.9	△2.1
鹿行地域	45.8	46.1	+0.3
県南地域	47.7	48.3	+0.6
県西地域	43.3	38.2	△5.1

《景気の先行き判断DI》

	平成28年3月	平成28年6月	前回調査比
茨城県	48.5	47.5	△1.0
県北地域	43.1	46.1	+3.0
県央地域	51.3	53.9	+2.6
鹿行地域	48.1	46.4	△1.7
県南地域	49.1	48.7	△0.4
県西地域	51.0	41.8	△9.2

平成28年7月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、太子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体系数】

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	286 人	95.3%
県北地域	60 人	58 人	96.7%
県央地域	60 人	58 人	96.7%
鹿行地域	60 人	57 人	95.0%
県南地域	60 人	58 人	96.7%
県西地域	60 人	55 人	91.7%

4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断 (方向性)
- (2) (1) のコメント (理由)
- (3) 景気の先行きに対する判断 (方向性)
- (4) (3) のコメント (理由)
- (5) その他景気に関する意見 (自由回答)

5 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成28年6月調査の調査期間は、平成28年6月1日から平成28年6月30日である。

6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方角性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方角性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

Ⅱ 調査結果の概要

1 全県の動向

(1)景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは43.3となった。平成28年3月の調査（以下、「前回調査」という。）より1.6ポイント低下し、横ばいを表す50を9期連続で下回った。

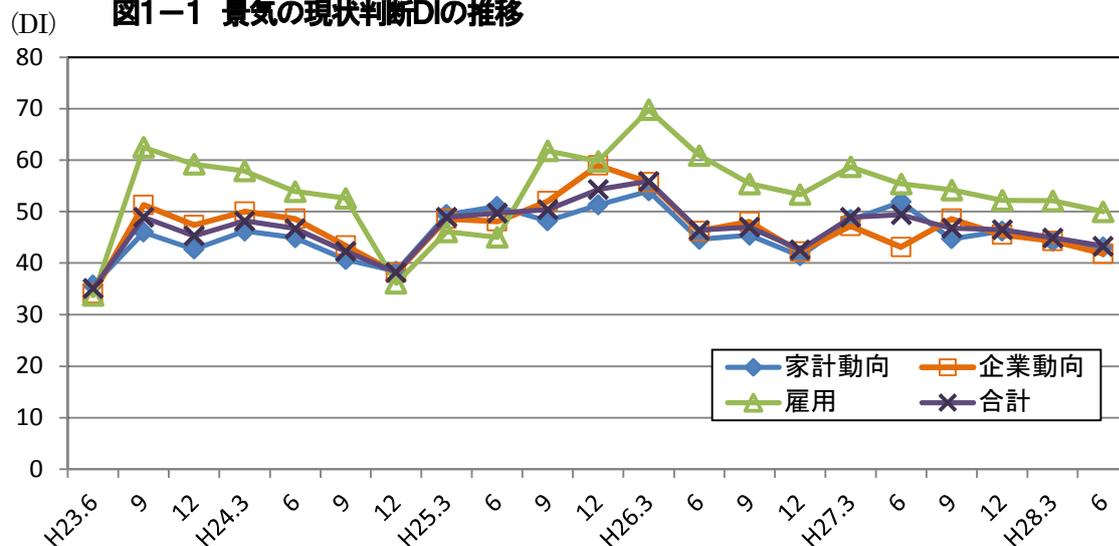
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月				
	平成27年 6月	平成27年 9月	平成27年 12月	平成28年 3月	平成28年 6月
合計	49.4	46.8	46.5	44.9	43.3
家計動向関連	51.9	44.7	46.2	44.2	43.1
小売関連	52.2	49.1	46.2	40.7	39.8
飲食関連	50.0	38.5	39.6	40.2	44.8
サービス関連	52.4	42.4	47.2	46.6	44.2
住宅関連	50.0	53.1	56.3	55.6	52.8
企業動向関連	43.1	48.6	45.5	44.3	41.8
農林水産業	40.6	46.9	50.0	43.8	50.0
製造業	42.6	46.1	41.3	43.9	37.2
非製造業	44.3	52.1	50.0	45.0	46.4
雇用関連	55.4	54.2	52.2	52.1	50.0

表1-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 6月	1.7%	23.0%	51.2%	19.2%	4.9%
平成27年 9月	1.5%	18.7%	52.1%	21.0%	6.7%
平成27年12月	0.7%	18.9%	53.1%	20.0%	7.3%
平成28年 3月	0.4%	17.7%	50.2%	24.7%	7.0%
平成28年 6月	0.7%	14.7%	50.0%	26.2%	8.4%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(月)

(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは47.5となった。前回調査より1.0ポイント低下し、横ばいを表す50を4期連続で下回った。

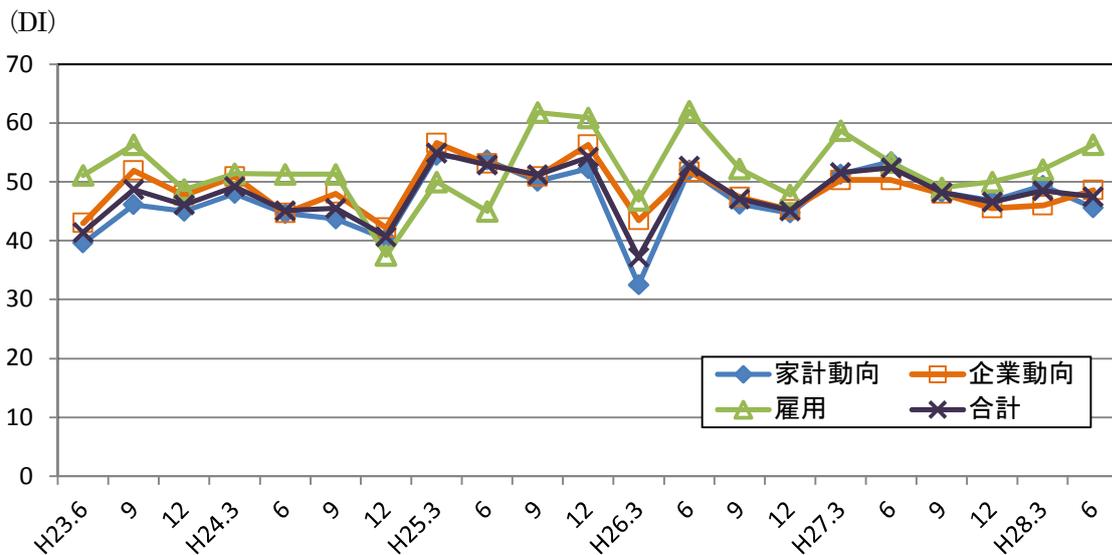
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成27年	平成28年	平成28年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		52.4	48.2	46.6	48.5	47.5
家計動向関連		53.4	48.2	46.8	49.4	45.6
小売関連		53.7	47.2	45.8	47.2	43.4
飲食関連		52.1	44.8	49.0	45.7	51.0
サービス関連		54.1	51.1	46.9	51.7	45.8
住宅関連		50.0	40.6	46.9	52.8	44.4
企業動向関連		50.3	48.0	45.5	46.0	48.6
農林水産業		43.8	50.0	43.8	46.9	56.3
製造業		52.1	45.0	44.6	48.9	49.5
非製造業		49.3	51.4	47.1	42.1	45.7
雇用関連		53.3	49.0	50.0	52.1	56.3

表1-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 6月	2.4%	24.0%	56.8%	14.3%	2.4%
平成27年 9月	0.7%	19.9%	55.1%	20.2%	4.1%
平成27年12月	0.4%	15.3%	59.6%	20.0%	4.7%
平成28年 3月	0.7%	18.5%	59.8%	16.2%	4.8%
平成28年 6月	1.8%	17.9%	54.7%	19.6%	6.0%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



(月)

2 地域別の動向

(1) 景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは42.7となった。前回調査より2.2ポイント低下し、横ばいを表す50を9期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成27年	平成28年	平成28年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		43.9	42.0	46.3	44.9	42.7
家計動向関連		46.4	39.4	46.8	42.2	39.3
企業動向関連		38.9	43.4	44.7	47.2	47.4
雇用関連		43.8	56.3	50.0	56.3	50.0

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 6月	1.8%	14.0%	49.1%	28.1%	7.0%
平成27年 9月	1.8%	17.9%	41.1%	25.0%	14.3%
平成27年12月	0.0%	20.4%	50.0%	24.1%	5.6%
平成28年 3月	1.9%	16.7%	51.9%	18.5%	11.1%
平成28年 6月	0.0%	20.7%	41.4%	25.9%	12.1%

② 県央地域

景気の現状判断DIは40.9となった。前回調査より2.1ポイント低下し、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成27年	平成28年	平成28年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		52.1	51.4	47.8	43.0	40.9
家計動向関連		55.8	47.1	46.6	42.4	42.6
企業動向関連		40.6	56.7	45.3	39.1	34.4
雇用関連		60.0	65.0	65.0	60.0	50.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 6月	1.7%	28.3%	51.7%	13.3%	5.0%
平成27年 9月	3.6%	25.5%	47.3%	20.0%	3.6%
平成27年12月	1.7%	19.0%	55.2%	17.2%	6.9%
平成28年 3月	0.0%	17.5%	45.6%	28.1%	8.8%
平成28年 6月	1.7%	8.6%	50.0%	31.0%	8.6%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは46.1となった。前回調査より0.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を4期連続で下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成27年	平成28年	平成28年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		50.4	48.6	48.2	45.8	46.1
	家計動向関連	54.4	46.8	47.0	48.4	47.7
	企業動向関連	42.1	51.3	50.0	41.7	42.1
	雇用関連	55.0	50.0	50.0	45.0	50.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 6月	1.7%	22.4%	53.4%	20.7%	1.7%
平成27年 9月	0.0%	14.5%	67.3%	16.4%	1.8%
平成27年12月	0.0%	17.9%	60.7%	17.9%	3.6%
平成28年 3月	0.0%	18.5%	51.9%	24.1%	5.6%
平成28年 6月	1.8%	7.0%	66.7%	22.8%	1.8%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは48.3となった。前回調査より0.6ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成27年	平成28年	平成28年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		54.5	45.8	50.5	47.7	48.3
	家計動向関連	57.8	44.8	50.0	47.5	48.5
	企業動向関連	50.0	44.7	51.3	48.7	47.4
	雇用関連	50.0	55.0	50.0	45.0	50.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 6月	1.8%	25.5%	61.8%	10.9%	0.0%
平成27年 9月	1.9%	13.2%	54.7%	26.4%	3.8%
平成27年12月	1.9%	20.8%	56.6%	18.9%	1.9%
平成28年 3月	0.0%	20.4%	51.9%	25.9%	1.9%
平成28年 6月	0.0%	24.1%	50.0%	20.7%	5.2%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは38.2となった。前回調査より5.1ポイント低下し、横ばいを表す50を9期連続で下回った。

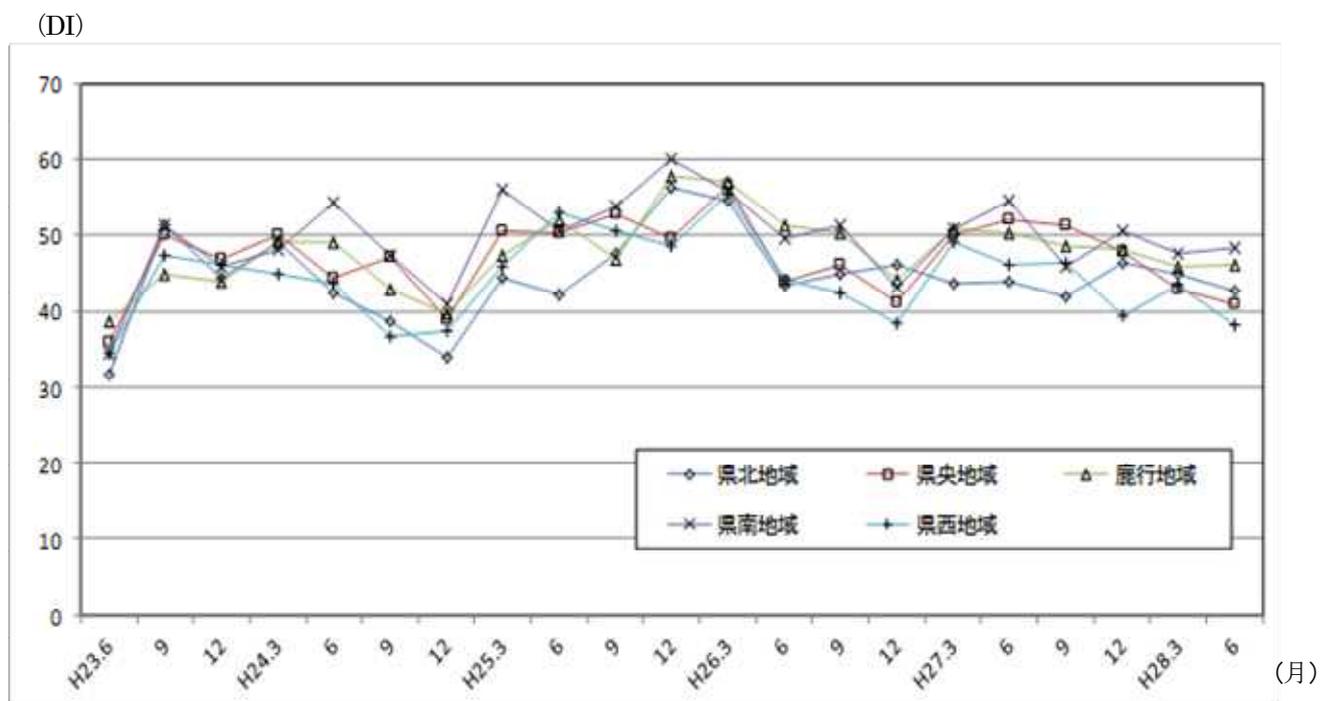
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成27年	平成28年	平成28年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		46.1	46.4	39.4	43.3	38.2
家計動向関連		44.9	45.4	40.6	40.8	37.1
企業動向関連		43.4	48.4	35.3	44.1	36.8
雇用関連		68.8	45.0	45.0	55.0	50.0

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 6月	1.8%	24.6%	40.4%	22.8%	10.5%
平成27年 9月	0.0%	22.9%	50.0%	16.7%	10.4%
平成27年12月	0.0%	16.7%	42.6%	22.2%	18.5%
平成28年 3月	0.0%	15.4%	50.0%	26.9%	7.7%
平成28年 6月	0.0%	12.7%	41.8%	30.9%	14.5%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは46.1となった。前回調査より3.0ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を5期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年 6月	平成27年 9月	平成27年 12月	平成28年 3月	平成28年 6月
合計		49.1	46.9	47.7	43.1	46.1
	家計動向関連	48.6	47.7	48.4	43.0	41.4
	企業動向関連	50.0	46.1	46.1	44.4	51.3
	雇用関連	50.0	43.8	50.0	37.5	62.5

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 6月	0.0%	14.0%	71.9%	10.5%	3.5%
平成27年 9月	0.0%	17.9%	55.4%	23.2%	3.6%
平成27年12月	0.0%	16.7%	59.3%	22.2%	1.9%
平成28年 3月	0.0%	18.5%	42.6%	31.5%	7.4%
平成28年 6月	0.0%	22.4%	51.7%	13.8%	12.1%

② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは53.9となった。前回調査より2.6ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年 6月	平成27年 9月	平成27年 12月	平成28年 3月	平成28年 6月
合計		54.6	50.5	46.1	51.3	53.9
	家計動向関連	58.3	51.4	47.3	50.7	51.4
	企業動向関連	46.9	46.7	39.1	51.6	59.4
	雇用関連	50.0	55.0	60.0	55.0	55.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 6月	5.0%	26.7%	53.3%	11.7%	3.3%
平成27年 9月	0.0%	27.3%	50.9%	18.2%	3.6%
平成27年12月	1.7%	12.1%	58.6%	24.1%	3.4%
平成28年 3月	3.5%	15.8%	68.4%	7.0%	5.3%
平成28年 6月	6.9%	22.4%	53.4%	13.8%	3.4%

③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは46.4となった。前回調査より1.7ポイント低下し、横ばいを表す50を4期連続で下回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成27年	平成28年	平成28年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		53.9	48.6	48.2	48.1	46.4
	家計動向関連	55.9	47.6	49.2	50.8	47.7
	企業動向関連	51.3	50.0	45.8	43.1	40.8
	雇用関連	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 6月	3.4%	22.4%	60.3%	13.8%	0.0%
平成27年 9月	1.8%	12.7%	67.3%	14.5%	3.6%
平成27年12月	0.0%	14.3%	67.9%	14.3%	3.6%
平成28年 3月	0.0%	11.1%	74.1%	11.1%	3.7%
平成28年 6月	0.0%	12.5%	62.5%	23.2%	1.8%

④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは48.7となった。前回調査より0.4ポイント低下し、横ばいを表す50を4期連続で下回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年	平成27年	平成27年	平成28年	平成28年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		53.6	48.1	49.1	49.1	48.7
	家計動向関連	53.9	47.4	48.3	50.0	45.6
	企業動向関連	51.4	47.4	50.0	46.1	51.3
	雇用関連	60.0	55.0	50.0	55.0	60.0

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 6月	1.8%	29.1%	50.9%	18.2%	0.0%
平成27年 9月	0.0%	17.0%	60.4%	20.8%	1.9%
平成27年12月	0.0%	20.8%	56.6%	20.8%	1.9%
平成28年 3月	0.0%	20.4%	61.1%	13.0%	5.6%
平成28年 6月	1.7%	19.0%	53.4%	24.1%	1.7%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは41.8となった。前回調査より9.2ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-19 景気の先行き判断DI

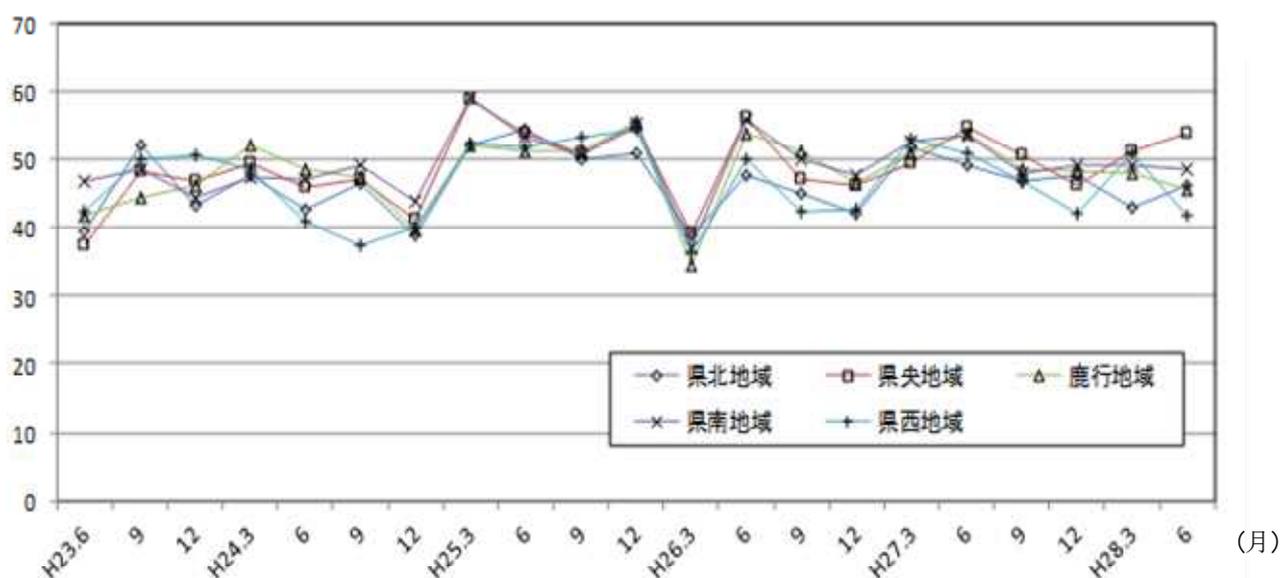
分野	調査月	平成27年	平成27年	平成27年	平成28年	平成28年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		50.9	46.9	42.1	51.0	41.8
家計動向関連		50.0	46.3	40.6	52.5	39.5
企業動向関連		51.3	50.0	45.6	45.6	42.1
雇用関連		56.3	40.0	40.0	60.0	55.0

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年 6月	1.8%	28.1%	47.4%	17.5%	5.3%
平成27年 9月	2.1%	25.0%	39.6%	25.0%	8.3%
平成27年 12月	0.0%	13.0%	55.6%	18.5%	13.0%
平成28年 3月	0.0%	26.9%	51.9%	19.2%	1.9%
平成28年 6月	0.0%	12.7%	52.7%	23.6%	10.9%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移

(DI)



Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良くなっている	家計	スナック	駅前の飲食店がにぎわっていると聞く。
		中国料理店	3か月前が非常に悪かったため、6月はやや良くなっているような気がします。
		観光型ホテル	少しではあるが予約状況などもお客様の動きが見られるようになった。
		ドライブイン	客単価は89%とダウンしているが、売上げ金額や客数は120%UPしている。天気も安定しているので客足は多いです。
		レジャー施設(かみね公園)	3か月前と比較しても消費動向は変わっていないと感じる。ただし小売店の顧客を見ると、多少お財布の紐は緩んでいると感じることがあります。
	企業	製造業(食料品)	価格一辺倒(安売のみ)の注文から、適正価格あるいは、やや高級品に分類される商品への問合せ、発注が増加傾向にある。3か月前との前年比較でも、高級品の伸び率は上昇傾向にあった。
		製造業(一般機械器具)	1日の来客数が増加している。
		情報通信業(情報サービス業)	徐々にではあるが商談の数が増えてきている。
		運輸附帯サービス業	近場のゴルフ場が繁忙している。弊社周りの繁華街に活気が戻りつつある。
	雇用	公共職業安定所	新規求人数及び有効求人数が増加傾向を示しているため。最近3か月では、「製造業」や「宿泊・飲食サービス」「生活関連サービス・娯楽業」で求人が増えている。(対前年同期比)
学校就業関係者		新卒求人がはじまり、出だしは好調である。	
変わらない	家計	商店街代表者	客単価が変わらないことから。また、前年比からもほぼ同等。
		スーパー	景気の現状は踊り場という言葉がぴったり合っている。但し、消費マインドは低調で個人消費の顕著な伸びは見られない。また、1人1人の客単価に変化なし。但し、点単価ダウン時の客単価UP率は大きい。デフレ傾向は継続している。年金受給日、給料日等の売上げUP率は以前より大きくなっている。危機感の表れか。
		スーパー	客数、客単価とも変化なし。買い物選びに慎重な面が見られる。(手に取って見て、表示などの確認や個数を考えながら比べている)必要以上の買い物をしない姿勢が見られる。近辺の衣料店でも同様な面見られる。
		衣料品販売店	来客数が変わらない。
		小売業(弁当・惣菜店)	特に変化はなく横這いといった印象を持つ。
		小売業(燃料)	販売数量(ガソリン)は横這いである。
		小売業(水産物)	売上げが伸びない。集客の減少。(人口流失)
		小売業(時計)	3か月前と比較して、売上げも同じような数字です。
		食堂	毎日営業してはいますが、単価を下げて安くしないと売れない。ファミレスでも駄目になる。正直考えられない。まして個人は、大変です。
		観光型ホテル	宿泊予約、日帰り予約共に昨年同期と比較し、ほぼ横這いの売上げを見込んでおり、景気は変わらないと判断する。
		タクシー運転手	好転する材料が見当たらない。
		ゴルフ場	月初めの予約状況ベースは横這いである。天候不順による予約辞退者は、4~5月ペースで対前年同期間で+88名と増加し、来場者確保に苦慮した。
		ゴルフ場	来場者、売上げ等、特に良くも悪くもなっていない。
		美容室	数字の変動がない。
		住宅販売会社	県内でも特にこの地域は来店数等の動きが鈍い。
水産業関係者	変化の要因がない。		

変 わ ら な い	企 業	製造業（電気機械器具）	3か月前と比べて売上げは減少していますが、それは毎年のことであり、前年の傾向と比較しても大きな差は見られないことから、景気は変わっていないと思います。
		製造業（食料品）	平均気温が例年よりやや高いが売れ行きは変わらず。
		製造業（化学工業）	特に良い材料も悪い材料もないので景気は変わらないと思います。金融機関と接していても、ゼロ金利政策が奏功しているという話も聞かない。
		製造業（電気機械器具）	生産数、受注数に変動がない。
		製造業（輸送用機械器具）	自動車メーカー各社は自動運転に向けた安全システムの搭載や環境・燃費規制に対応した新車を次々に市場に投入し販売拡大を狙っているが、軽自動車含めて依然前年を下回る厳しい状況が継続している。一方、海外は北米の好調継続に加え中国も好転してきているが、その恩恵が国内生産に及んできていない。
		運輸業	昨年から貨物量はほとんど低い水準にて横這い。
		金融業	日立製作所の火力発電部門が三菱重工業と統合した影響により、関連下請企業の受注が低調に推移しているなど、景気に変化はみられない。
や や 悪 く な っ て い る	家 計	スーパー	毎日の売上げが減少傾向。
		コンビニエンスストア	所得の伸びがなく、厳しいといった声を良く聞きます。また、競合する店の開店や自店のリニューアルをしたなど要因のない店は売上げが厳しくなっています。
		自動車販売店	例年、この時期は需要期を過ぎ売上げが落ちる傾向にあるがメーカーの不正の問題もあり、消費者の動きが鈍くなっている。
		農産物直売所	土産品が出ない。周辺に道の駅が出来た事もあるかもしれない。
		小売業（酒類）	来店客数も少なく、得意先飲食店の方々も例年になく厳しさを感じている様子です。仕事帰りのお客様が多いため大型連休の影響は大きかったようです。
		旅行代理店	3か月前予想に対し、受注件数、売上げとも下回っている。適性運賃によるバス運賃の上昇が原因と思われる。
		ゴルフ場	若い方の来場が減少した。
		ボウリング場	週末の来店客数は、一定数あるものの、平日の日中から夜間の来店客数が伸び悩んでいる傾向が見られる。
企 業	企 業	林業関係者	購買売上げが低下。意欲薄。工務店等の仕事量が少ないとの話を耳にする。
		製造業（電気機械器具）	国内、海外案件の受注低迷しており人余りが発生してきている。
		製造業（電気機械器具）	作業量が全般的に見て少ない。多忙な部署とそうでない部署との差が激しい。
		建設業	お客様からはあまり良い話は聞こえてこない。見積り件数も少ない。
		不動産業	毎年ではありますが、年度末の繁忙期から一服感があります。
		求人広告	求人需要は3か月前と比べて少し落ちてきている。
雇 用	雇 用	求人開拓員	企業訪問の際、直接中小企業経営者（製造業）の方からの話に何度か聞こえる内容です。（先行も不安で設備投資も積極的になれない等）通常の年度切替の月から3か月経過した割には、人員不足が常に発生している業種を除くと少なく感じています。
悪 く な っ て い る	家 計	商店街代表者	夏以降の物件については話が挙がっているが、6月～8月まえの物件が極端に少ない。
		居酒屋	売上げが少ない。
		観光型ホテル	4月、5月と前年対比で売上げが落ちている。
		タクシー運転手	飲食店からの依頼が少なくなっているように感じる。
		タクシー運転手	4月は新入社員や異動で配属になった人達の歓迎会等でタクシー利用需要があるのだが、例年に比べ規模も小さく回数も少なかった。また、会社の行動方針会議（キックオフミーティング）の際にも、あまり費用を掛けない方針があるためか、利用が少なかった。5月はいつもの通り連休が多く低レベルで例年と同じ。6月は初頭には高額ボーナスが支給されるようだが、タクシーには好影響はなく、売上げアップというよりも減収に働いた。
		タクシー運転手	駅前から乗車するお客様が減っている。
		企 業	製造業（精密機器）

(2) 県央地域 【現状】

(一：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	自動車販売店	東日本大震災の影響で2回目の車検がゼロに近い状態にもかかわらず、5月の新車（普通車）販売は伸び、6月も10%ぐらいの伸びが予想される。
やや良くなっている	家計	楽器販売	高額商品の動きがこれまでに比べ少し活気づいた。
		住宅販売会社	年明けから来店数が増え始め、その傾向は変わっていない。
	企業	農業関係者	露地野菜等の出荷も始まり、一部の農家は収入が増えている。
		サービス業（コンサルティング業）	大規模な開発が増えてきた。
	就職相談員	来館人数で若年者（～34歳まで）を昨年同月（3か月）と比較してみますと98%と若干減少気味です。また、採用者で若年者（～34歳まで）を昨年同月（3か月）と比較すると106%と伸びております。数字上は、雇用関係が少しずつ改善されつつあります。	
変わらない	家計	商店街代表者	目立った変化は見られません。
		百貨店	3か月前の前年比と今月の前年比を今月末に最終的に比べると、大きく変わらないと見込まれる。
		百貨店	3か月前と同じように商品をじっくり吟味して購入しており、衝動的に購入するお客様は前回と同じように少ない。
		スーパー	客数、供給共に3か月前の前年比と今月の前年比で変わらない。
		スーパー	相変わらず、財布の紐は固いようだ。余計なものは買わないような感じがする。
		コンビニエンスストア	従業員やオーナーさんのお金の使い方を見る限り、大きな変化はないと思います。
		コンビニエンスストア	お客様のお買い上げいただく商品の多くは、天候・気温に左右されるものが多く、消費が低迷し、伸長しているような変化は感じません。
		レストラン	目立った変化が見られない。
		レストラン	歓送迎会や総会シーズンで予約の動きはあったが、例年通りで客単価UPもなく、景気が良くなっているとは思えない。
		レストラン	インバウンドの利用が増えてきたが、逆に個人利用が減ってきている。
		都市型ホテル	大きな変化はない。
		旅行会社	バス・ハイヤー共にお客様の利用が少ない。バス料金の値上げで利用するお客様が減少しています。
		タクシー運転手	会社の近くに2～3件お店ができましたが、タクシーを利用するお客様がいません。夜の方は10時（22時）頃からは全くないです。先月も、先々月も同じくタクシーを利用するお客様がいないです。
		タクシー会社	売上げに変動が見られない。
		タクシー会社	水戸駅等よりの乗車実績は県外等の顧客が増加傾向にあると思えるが、地域の顧客等の乗車実績は下降傾向にある。したがって全体的に変動はないものと判断します。
		ドライブイン	観光地ですが団体のお客様のバスが少なく、個人少人数での来園のお客様も見込めなかった。
		レジャー施設	当所では毎年日々の入場者数を見ているが、天気によって左右される点など変わらず、売店でのお客様の財布の紐は硬く、品定めする時間などみても景気が良い方向にある感覚は5月が終わって今はないです。家庭の出費を抑えるため、手持ち弁当を用意してくるご家族が依然として多く見られます。
		スーパー銭湯	今年のGWは一般的には短い状況にあったため、昨年と比べて低迷の景気のイメージでうつっているとされるが、全般的には変わらない状況にあると思います。また、各地で食のイベントが開催されるため、集客に寄与しておりますが客単価増加には繋がっていない状況だと思えます。
		レジャー施設	新規契約の数と契約解除の数と同じくらいで全体の総数は変わらない。
	理・美容店	3月と6月、当店では売上げを見てもほとんど変わらない。	

変わらない	企業	製造業（印刷業）	受注量が減少している。
		製造業（金属製品）	3か月前と変わらず、仕事の量はとても少ない。工場の稼働率は60～70%程度が数か月続いている状況。
		運輸業（道路貨物運送業）	年度が変わっても貨物の動きが良くない。
		金融業	業種に差はあるものの、全体的に売上高横這いで推移している企業が多く、設備投資や借入においても慎重であり、3か月前と比較して景気の変化はないと思われず。
		不動産業	特にお客様の動きで変わっているというような様子が見られない。
		情報通信業	新年度を迎えても商談の動きは重く、顧客会話でも先行き不透明が払拭された様子は見られず、強い投資意欲は余り感じられなかった。また、商談が生じても価格面において期待する利ざやの確保は、相変わらず難しい状況。
	雇用	人材派遣業	特に前年度と変わらず推移している。
		求人広告	広告出稿量におおきな変化がない。
		学校就業関係者	去年並みの求人票が、届いている。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	3月4日は年度替わりの繁忙期で例年と同等であったが、5月以降、企業からの受注量も減り、個人消費も来店客数も減り大変厳しい状態です。景気が悪いまま変わりません。
		スーパー	食品のデフレが一部始まっている。GWが終わり、財布の紐が締まっている状況。
		スーパー	来店客数の減少と特売商品の販売点数の売数が減少していて、本当に必要なものしか購入していないようだ。
		スーパー	直近3か月の間、売上、客数ともに減少しているため、今月回復する理由が見当たらない。
		農産物直売所	レジ通過人数及びギフトの売上げの昨年対比が前年を下回るようになってきた。
		割烹料理店	今月は梅雨時期に入るので、農家のお客様、建設業のお客様が雨天のため休日になることがよくあるので、昼のランチは少し落ちると思います。
		都市型ホテル	総会シーズンに入ったが、業種によっては規模を縮小したり、懇親会を削るなど、昨年より状況は悪化している。お客様の話でも、厳しい状況が続いているという声も聞こえる。
		観光型ホテル	5月連休以降の予約状況が伸びなやんでいる。
		旅行代理店	大きな災害が発生すると、その方面への旅行キャンセルや旅行自粛等で一気に売上げに影響を及ぼす。
		タクシー運転手	このところ繁華街の人手も少なくなっている。3か月前の前年比と今月の前年比を比べると、今月の方が低調なので景気はやや悪くなっている。
		観光名所	この時期は毎年閑散期であり、お客様の来客数自体減少傾向であるのは同じだが、地震の影響で自粛ムードがさらに観光業に影響を与えているように思います。
		ゴルフ場	来場者数の減少が顕著に表れている。
		建築設計事務所	売掛金の回収に手間取る物件が多くなってきている。発注者の資金繰りが難しい状況と推測される。
企業	企業	製造業（食料品）	あくまで弊社に関わる範囲での見解ですが、受注数が減少し、苦戦の声が多いです。
		製造業（印刷・同関連業）	受注減少のため、外注したのもも内作している。
		製造業（一般機械器具）	5月末から作業量が少なくなってきた。
		サービス業（広告業）	6月は春の販促活動が一段落した谷間の時期なので、販促チラシ等の出稿数が減少する。今年も昨年同様にその傾向がある。
	雇用	公共職業安定所	水戸所管内有効求人倍率が28年3月、1.38倍 4月、1.22倍 5月、1.20倍と低下している。
悪くなっている	企業	家計 小売業	茨城空港では3か月前と比べ、土産物やレストランについては若干売上げが伸びているが、外国人を主なターゲットとする免税店の売上げは、中国政府の関税の引き上げ（4月8日から）及び、国際線の減便等の影響により低調である。
		製造業（食料品）	売上げが今月（5月）になって極端に悪くなった。
		製造業（窯業・土石製品）	受注量が減少した。
		製造業（精密機械器具）	総合的な注残はあるが、6月はたまたま注残が底となっているため。このような斑模様様の売上げを避けるため、取引先の拡大を常日頃模索しています。
		建設業	一般消費者に萎縮を感じる。ただやすくとする感情は近年伺えない。

(3) 鹿行地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	観光名所	コメント	
良	家計	タクシー運転手	仕事が忙しくなっている。	
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	毎年行われている工業地域の定期修繕工事において、昨年以上の規模であり、来客数が増加。主食の弁当、おにぎり、パンや、タバコ、酒の販売が顕著な動きを示している。	
		コンビニエンスストア	鹿島東部コンビナートの定期修理が昨年を超える規模だった様子が、関連企業の作業員などで朝晩の利用が多かったため、影響を受ける各業態とも状態は改善されていると思われる。	
		洋食食堂	前年比アップは20か月でストップしたが、5月は99.8%でほぼ前年クリアと思っています。	
		住宅販売会社	マイナス金利の影響により、購入層が少しずつ動き始めた。	
変わらない	家計	商店街代表者	身近な事業者の意見でも、客数・客単価は横這いである。経済情勢を視て的確に判断するとしてきた消費増税を、政府が先延ばししたことも景気が思うように好転していない表れと思われる。	
		スーパー	売上げが変わらず、客単価・点数も変わっていない。	
		家電販売店	消費者マインドは上昇傾向を感じるが、無駄な購入をさけるために慎重な選び方は先般変わらず。	
		農産物直売所	変化の実態が感じられない。	
		小売業（菓子類）	3か月前の対前年比と今月の対前年比がほぼ同じである。	
		小売業（食品）	道の駅、農産物直売所などの売上げはやや良くなっているが、小売りの方は非常に悪い。昨年と同時期の売上げは変わらない。	
		小売業	引越しシーズンに入りお得意様が減ったこともあるが、工場の定期修理による新しいお客様も来店した。	
		和食レストラン	売上げ等を加味。	
		日本料理店	接待も予算が決まったり、ランチですませる時もあるそうで、一回にかける予算もしばらくは上げられないとの声がありました。	
		観光型ホテル	3か月前と比較してお客様の宿泊代金などに特に変動を感じない。（宿泊コースが3つに分かれており、3か月前とコースの比率が特に変わっていないと思う。）	
		タクシー運転手	状況が同じ。	
		タクシー運転手	業務の乗客状況からして、日々一般乗客（特に高齢者）の利用が少なく感じる。時折、乗客の会話で極力タクシー乗車を控えるといったことを耳にする。	
		ドライブイン	観光シーズンですが、来客数など目立って大きな変化がなく平年並みである。	
		ゴルフ場	予約状況から見て変わらない。	
		理・美容店	売上げで見ると変化があまりない。	
		理・美容店	来店サイクルがほぼ伸びきったままの状態なので、売上げは横這いのままで推移しています。	
		企業	農業関係者	現在の購買意欲は、昨年の同時期と比較した場合、売上げは昨年と同程度であり、それ程変わっていないと思われる。
			製造業（食料品）	受注量も、現在料金も変わりはない。
			製造業（食料品）	消費動向が消極的。
製造業（鉄鋼業）	ボーナスの支給時期になると、特段普段と変化は感じられない。			
製造業（金属製品）	生活に関する物資の値段は高くなった。インフレ傾向にする目的で行政は数々手を打っているが、いまだデフレ傾向は変わっていない。			
建設業	景気上昇とは感じられません。			
建設業	鹿行地域は着工件数が少ないほか大手ハウスメーカーなどに多く受注されている。			
運輸業（道路貨物運送業）	相変わらずまとまった仕事の発生がない。特に水・木曜日は仕事が薄い状態である。			
金融業	全体的に設備資金及び運転資金の資金需要は依然として慎重である。			
保険業	良い人も少なく、悪い人も少なくなっている。			
不動産業	肌で感じる景況感はないです。企業は定期修理期間中ですが、期間中作業員も増えている割には居酒屋さんもお客様の利用が思っている以上に悪いとのこと。			
内装工事業	家の建て替えは無理としても増築、リフォームなどを考えている人は多いと思いますが、老後のこと、核家族のことやらで、なかなか決断ができないのではないか。			
火力発電所	出荷見込みが前年度並み。			

変 わ ら な い	雇 用	人材派遣業	今年に入って以降円高、株安もあり輸出産業が多い製造業の景気動向は厳しい状況にある。中小企業も同様な状況にあり、コンビナートでとりわけ自動車関連にある鉄鋼は厳しい状況と聞く。また、中国の鉄鋼状況もあり打撃が大きい。
		民間職業紹介業	当地域においては相変わらず求職者数が増えていない。
		公共職業安定所	有効求人倍率は3か月連続で対前年同日を上回っている状況にあるが、有効求職者数の減少によるところが大きい。
		学校就職関係者	雇用について、求人は横這いか少し良いようにも感じるが、ほとんどが新卒や経験者、職種限定（建築関係、自動車関係、介護関係）を感じる。経験なしでの中途採用は良いとは思えない。賃金については、ほとんど上がっていない。（保険料や税等の負担などにより実質下がっている）
		求人開拓員	最近、保育士の求人が少なくなっている気がする。充足しやすい環境になっているのかもしれない。他の求人については、変わった様子が感じられない。
や や 悪 く な っ て い る	家 計	スーパー	昨年と比べ、天候がやや不順で、夏に向けての商品等がやや動きが悪かった。また、一部野菜等の相場が低迷して金額の伸びがなかった。
		小売業（薬品店）	例年の6月期と売上げを比べても、7～8%減っている。街中の商店の売上げを伸ばす好材料が見つからない。
		小売業（書店）	近隣の商業施設がオープンしました。移転した店舗等もあり、当店周辺が少し閑散とする時間帯もあります。オープン前後で売上げの影響もでています。
		割烹料理店	直近の1か月分の売上げが過去最低だった。団体の予約が入らない時期ではあるが、予算なども下がっていて上向きになるのは期待できない。
		タクシー運転手	短・長距離にかかわらず利用客の減少、伴って売上げの減少、余分な出費は出来るだけしないような話をしている。
		レジャー施設	当レジャー施設における売上げ額も減少傾向を示しており、景気は下向を示しているものと考ええる。
		クリーニング店	今年になって食品などが値上がりしている。そのため、将来の不安をかかえ消費を抑え、少しでも安い物とを考えている。
	企 業	製造業（食料品）	地元中小企業のお客様が減っている。客単価が下がっている。
		製造業（食料品）	東北地域で補助金受給により復旧した生産工場が複数あり、製品の供給圧力から若干市況が弱含みとなってきている。
		製造業（電気機械器具）	業界内でやや失速している。燃費偽装問題の影響も感じられる。
家 計	製造業（食料品）	取引先の倒産がありました。	
	運輸業（道路貨物運送業）	新年度になってから荷動きが少々悪くなってきてる。	
悪	家 計	サービス業	中国市場の低迷により、インフラ整備関係を中心とした建機、鋼材の材料評価、調査試験が激減している。特に顧客の中では工場・生産拠点の縮小集約、人員整理を行っているところがあり、先行き厳しい。また景気のけん引役であった自動車製造業も一部企業のリコールで、ガードが固くなり、受注減少傾向が続いている。
		農産物直売所	今月は、当店にとっても年間で売上げ指数の高い月です。単価の高い商品が売れるため、そうなっているのですが、月半ばでマイナスが大きく出ています。明らかに、お客様の価格に対する目が厳しく、財布の紐が固くなっているのを感じます。

(4) 県南地域 【現状】

(一：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	一	一	一	
やや良くなっている	家計	スーパー	売上げは3か月前と比べても伸びていますし、前年比も良く約2年。前年比（月別）では割っていない。	
		家電販売店	3月、6月（5月も）前年比で見ると伸びている。	
		専門スーパー	若干ではありますが、客数が増加しています。	
		和食食堂	客単価が若干ではあるが上がってきている。	
		タクシー運転手	学生の会社訪問が解禁になり、タクシー利用で行く学生が増えて若干景気が良くなっている。	
		タクシー運転手	距離に関わらず、時間貸での仕事依頼が増加している。特に法人の貸切の増加を見るに経費の余裕を感じる。	
		ゴルフ場	平日にも予約が多くなってきた。平日にプレーできる客層はある程度決まっているので、オンシーズンということ差し引いてもやや良くなっていると判断できる。	
		理・美容店	前年比を技術売上げが上回った。物販も上回った。	
		住宅販売会社	来店数も増加しており、一過性のものではなくなってきた感じを受ける。	
	企業	製造業(非鉄金属)	生産計画通り、増産が続いている。	
		建設業	今月はまだまだ年度始めの時期であり、官公庁の仕事はそれほど出てこないのだが、昨年と比べてもそれなりに結構出てきている。非正規社員を昨年は休ませていたのだが、今年は継続して雇用している。よって、景気はやや良くなっている。	
		運輸業（倉庫業）	食品関係の入出庫は昨年より好調を維持している。原材料等も増加しているため、今月はやや上向き傾向である。その他については例年通りに近い状態で動いている。	
		不動産業	グループ6社・13店舗の総合的な実績内容の分析から判断して、当社としてはやや良くなっている。各月の昨年比10%UPの目標設定に加え予約8%UPの実績となっております。ただし、業界的に見ると変わらない状況と思われる。	
	雇用	求人開拓員	この3か月、事業所訪問もしているが、ジョブカフェのホームページを見て求人をしてくる事業所が増えてきた。そのため、訪問数が減った。	
	変わらない	家計	スーパー	店の売上げ、客数が伸びているわけではない。
			スーパー	数字で言えば3か月前とあまり変更がない。お客様の様子から判断すると、やはりあまり変化はない。
			コンビニエンスストア	お客様の買い物の量をみても、変化がないと思われる。
農産物直売所			新規のお客様が見えず、いつものお客様で集客。売上げも対前年同月比変わらず。	
小売業（生花店）			証券会社からの定期購入が中断保留状況になるなど、市場の購買意欲が低調であり景気の伸び悩み状況が感じられる。	
和食食堂			かなりの営業努力をしないと。	
洋食食堂			季節的には、当店は一番来店数が少ない時期ではあるが、コンサート等、イベントを企画してなるべく売上げを伸ばしていこうと考えてます。あちらこちらアーティストの売込みはあるのでお客様にも楽しんでもらっている。	
寿司店			常連さんがほとんどで、変化が見込めません。	
都市型ホテル			宿泊、宴会、レストランでの動きとして個人、企業とも大きく変化は感じられませんでした。宿泊においては、企業の研修開催で連泊など前年と比較しても変わりませんでした。宴会での企業の動きも、低価格ではありますが、獲得条件、県単価もほぼ動きかわらずでした。レストランもGWも対象期間にありましたが、あまり変化なく感じられました。	
都市型ホテル			宴会、会議等はやや良くなってきたが、宿泊に関してはインバウンドの入り減少のため、トータルで見ると変化がないように思われる。	
旅行代理店		旅行の間合せや見積りは多くなっているものの、実際旅行の申込みにはなかなか繋がらない。お客様がそれだけ消費に厳しくなっているように思う。		
タクシー運転手		お客様との会話から、変わらない。		
タクシー運転手		利用回数(乗車回数)がここ数か月ほとんど変わらない。実際、接待的なサラリーマン風の乗客の増加が見られない。		
サービスエリア		5月の交通量が前年を割り、それに伴って商業施設の入館者数も前年を下回った。また、GW期間の売上げも前年を下回った。3か月前は対前年比で順調に伸びていたため、若干景気の冷え込みかとも思われたが、曜日の並びの問題や天候にもやや左右された感があり、お客様の購買意欲は相変わらず高い率を示していることから、個人消費の傾向はそれほど変化はないと判断した。		
ゴルフ場		ゴルフ場への来場者数、単価ともに変動が少ない。		
レジャー施設		前年と比べ数字は悪化しているが、この業界長年の傾向であるため、景気動向の変化とは一概には言えないと思う。顧客の動向に大きな変化はみられない。		
理・美容店		特別何の変わりもないです。暑くなってきて髪を切る人は増えましたが、景気とは関係ないでしょう。		

変 わ ら な い	企 業	農業関係者	購買生活事業について、生活用品の売上げ減少が続いています。組合員の声も米価が安いので買えないとの声が変わらずある。
		農業関係者	6月期（初旬まで）の来客数・客単価を今年3月期～と比較すると両者ともに増加傾向。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。
		製造業（食料品）	世の中全体を見廻して景気が良くなっているようにはみえない。株が下がったり、ガソリンが上がったりしていて、現状維持がやっとではないか。
		製造業（飲料）	判断する材料がなかった。
		製造業（家具・装備品）	過去3か月前頃より、多少上向きかなとは思っておりますが、売上高を見ますとあまり変化を感じません。
		製造業（印刷業）	来客数が特に増えていない。
		製造業（一般機械器具）	これといった変化がなかった。
		建設業	受注量は変わらず忙しい状況が続いている。個人のお客様は慎重な様子が見受けられるが、店舗の設備工事はこだわりをもってされるので、見通しの良さを感じる。
		金融業	各業種での業況等は特段の変化は見受けられない。新規事業等の開業も活発ではなく、近隣地域での企業進出の動きはない。
雇 用	人材派遣業	製造業の新規オーダーは減ってきているが、サービス業のオーダーは増えているので変わらない。	
	求人広告	担当顧客と接するなかで、大小問わず前向きな動きが見えない。	
	学校就職関係者	基本的な支出にとどまり、特段消費活動につながるような事柄はない。	
や や 悪 く な っ て い る	家 計	スーパー	大きな病院が移転し、人の流れが変わった。
		日本料理店	連休時との来客数が大分減っている。
		工場見学案内	1～3月の総来場者数の前年比が99%に対し、直近は94%と減少幅が拡大。同様にショップでの売上げも大幅に減少している。総じて外出機会や金銭支出高が減少＝景気やや悪化と捉える。但し、有料のツアー客の減少幅やショップでの客単価は程遠い。また、総来場者数に対するショップでの購入者数の比率は若干ながら上昇しており、中高所得者層の景気は底堅く感じる。
		ボウリング場	若年層の動きと夜の稼働が鈍い。週末の動きにも似たような傾向あり。
		製造業（金属製品）	4月、5月と比較すると注文量が少なくなっている。
		製造業（食料品）	客数及び売上げが、3か月前・前年同月比とも落ちている。
		製造業（窯業・土石製品）	今の経済政策では、とても消費や設備投資の盛り上がり間は期待できない。
企 業	製造業（窯業・土石製品）	例年と比較すると、公共事業の発注が少ないと感じる。	
	建設業	1月、2月に出した見積りが、4月、5月頃に決まると思っておりましたが、先方の都合で延期になるも5月下旬に契約でき、ほっとしております。3月以降は徐々に下方に向かっていくようにも思います。見積りの依頼も減ってきていますので、少々不安です。友人（異業種）の社長連中の言葉もあちこちより多く耳に入ってきている。今後益々悪化するでしょうと。	
	建設業	仕事が薄くなっていると言う話をあちこちで聞く。	
	雇用 公共職業安定所	当所管内において、運送業の事業所で30名の雇用調整があったこともあり、雇用の安定に不透明感がある。	
悪	家 計	小売業（米穀）	今年の5月は悪かったです。2月末までの茨城県産プレミアムお米券の駆け込み購入分がまだ消費されていないと思われます。結び付きの飲食店等でも良い話は聞くことは出来ません。通常5月はGWに山が2つあるらしいのですが、今年のGWは長かったせいも忙しかったのはどの店も5月3日だけということでした。前年同月と比べても良かった店はありませんでした。
		タクシー会社	発注の電話がこない。
		住宅設計販売	新規顧客の発生が減少している。

(5) 県西地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	-	-	-	
やや良くなっている	家計	旅行会社	3月は年度末ということもあり、お客様の動きが少なく、4月も年度始めで少なかった。しかし、外国人客が相変わらず多いことと、学校関係の仕事でも単価が上がってきているのでやや良くなっていると思う。	
		ゲームセンター	売上げ、入客ともに前年を上回っている。	
		住宅販売会社	低金利の影響か、動きが出てきたようだ。	
	企業	農業関係者	野菜の市場での売れが良いので。	
		製造業（窯業・土石製品）	中国製品の輸入販売については、4月以降の円高ドル安がコスト低下になる。国産品需要の増加が若干ではあるがみられる。	
		不動産業	売買客が増加の傾向。	
求人広告	あまり状況として変わらないところが多いが、比較的明るい話が出てきている。製造業などで派遣や正社員の人員増加を予定していたり、製造を増やすなどの話がある。ただ、飲食店や小売店など一般消費者を相手にする企業はまだまだ景気の良い話が少ないように感じる。			
変わらない	家計	自動車販売店	販売台数に変化なし。	
		農産物直売所	店舗の購入状況の変化は見られない。	
		専門スーパー	客単価、買上げ点数に変化は見られない。	
		和食食堂	来客、配達の割合に変化が見られるものの、全体の売上げは変わらない。	
		都市型ホテル	昨年と売上げを比較しても変化はなく、お客様を見ても特に変化はない。	
		タクシー会社	全体の営業回数が増えない。特に土曜、日曜、祭日は悪く、売上げ増加には繋がってこない。	
		タクシー運転手	朝夕の利用客はやや増えてきているが、深夜の利用客は減少傾向にある。	
		タクシー運転手	変化の兆しがない。	
		ドライブイン	来場者のお問い合わせの内容から判断すると変わらない。	
		ドライブイン	来場者数は微増であるが客単価は伸びておらず、むしろ悪くなる傾向があり、景気の改善は図られていない。	
		ゴルフ場	予約状況にて。	
		ゴルフ場	特に目立った変化はないように感じる。	
		理・美容店	忙しいと言う人は人手が足りないため、景気が回復してきている訳ではない。	
		建築設計事務所	同業者の複数の仲間から、人手不足のため協力して欲しいとの相談を受けたが、それは単純に景気の良さから来るものではないだろう。	
		企業	製造業（食料品）	仕事はコンスタントに入ってくるので、売上げ自体は多少の変動はあっても全体としては大きく変わらない。仕事は増やせるが、募集を掛けても人が集まらないので、売上げも増えない。
			製造業（印刷・同関連業）	期末の3月に比べれば当社も接するお客様も仕事は減っているが、例年通りの状況だ。ただ、戸建も含め不動産関係や商業施設に大手が進出しつつあり、地元企業（零細企業含む）は企業努力で頑張っているところと、そうでないところの差が歴然と出てきている。
製造業（化学工業）	主要市場である中華圏顧客の需要伸び悩みやスマホ等電子製品の部材在庫調整継続。			
製造業（電気機械器具）	一部の部門により、受注増量による増員要請がある反面、業績悪化部門もあり、全体の人員体制には変化なし。			
金融業	取引企業とのヒアリングでは毎月の売上げに関してほぼ横這いで推移しており、個人事業主にしても同様に売上げ横這いで推移している。			
雇用	公共職業安定所	介護、建設分野の求人充足は依然厳しい状況。		
	学校就職関係者	4月から新年度が始まっているが、本年度も企業からの求人数推移は昨年度と変わらない。		
	求人開拓員	求人を出す企業は多いが、新規の求人は少なく、大体同じ企業が何回も更新をしているように感じる。		

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	御奉仕品をすすめても手を出さない。
		スーパー	買上げ点数・客単価・一品単価ともにやや減少。
		スーパー	お客様の頻度の減少が顧客データから読み取れる。
		和食食堂	予約の状況を見ても数が減少している。前年比を見ても、また、3か月前の前年比を比べると今月の方が低調である。
		日本料理店	お客様の数が減っている。当地方には大きな企業がなく、賃金の上昇も余りなく、節約志向が強くなっているようです。特に学生達の節約志向も以前より強くなっているように思われます。
		飲食業	変わらないと答えたいが、6月4日現在、やや悪くなっていると判断します。
		和食レストラン	3か月前の前年比と今月の前年比を比べると、今月の方が低調なので、景気はやや悪くなっています。学校関係（子供会など）の予約のキャンセルなどが多くみられました。
		旅行代理店	燃料費は値上がり気味である。団体旅行客数が減ってます。ツアーを予定しても、集客が悪く出発できないなど、物価が安定していない。
		タクシー運転手	近くを利用したお客様もあまり乗らなくなった。会社でも景気の良い会社と悪い会社ははっきりして来たように思う。
		企業	農業関係者
製造業（食料品）	季節変動が関係しているが売上げ、受注数など減っている。		
製造業（印刷・同関連業）	年度が変わって、価格の下落が止まるのを期待したが、依然としてスパイラルは続いている。		
製造業（印刷・同関連業）	3か月前は3月の年度末、例年駆け込み的発注がある時期で反面、5～6月はその反動が表れる。季節的要因には違いないが、当業種では不可避な要因。		
製造業（金属製品）	新年度発注品の動きが遅い。（発注が遅れている）		
雇用	人材派遣業	求人が少なくなっているため、売上げが20%少なくなっている。6月、7月、8月も同じでしょう。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	水害の影響がまだ続いている。客数が戻らない。天気が不安定。
		衣料品販売店	来客数が減っている。
		製茶販売	取入が減ったのに、物価が上がった。
		クリーニング店	ガソリンの値上げにより、少しずつ生活に影響がでてきてます。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	現在の状況は当社も、また、同業者も、当社の得意先である問屋、商社、小売店すべておしなべて仕事を持ってないので、当社への発注が非常に少ない。業界全体が毎年毎年悪くなっているのが我々の業種です。
		製造業（一般機械器具）	売上げの低下、同業者の話においても仕事が減っているとのこと。
		建設業	官公需要の停滞。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 東北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	-	-	-	
やや良くなっている	家計	中国料理店	お客様のお話でも、「残業が増えている」「仕事が少し落ち着いてきた」など、忙しいお話をされる方が多いので、少し景気も良くなるのかなと思います。	
		観光型ホテル	予約状況から判断すると良くなったように思える。	
		タクシー運転手	7月の参院選に向けての政府の景気浮揚策、そして8月には世紀のスポーツの祭典、リオデジャネイロオリンピック開催等ちょっと景気が良くなるかなと期待を持たせます。世の中お祭り気分になれば、財布の紐も緩みがちになり、ひいてはタクシー利用にまで、多少は良い影響を与えてくれると思います。	
		レジャー施設(かみね公園)	茨城県も東北に予算を投じ多々、広報や催事を行っていただいている。	
		美容室	サービス業なので繁忙期と少しかぶるため。	
	企業	林業関係者	8月中旬以降はやや回復していると思う。	
		水産業関係者	雰囲気的なものがあるが、景気はやや良くなっているというよな声 がしばしば感じられる。	
		製造業(食料品)	先行実施されている商談関係では、廉価品よりも、適性品質且つ適正価格品、やや高級品の要望が増傾向であることから、従来の廉価品だけでは消費者満足に合致しない消費者層が消費活動に与える影響が出てきたと考える。	
		製造業(電気機械器具)	先の生産計画を見ると、やや生産数がアップする。	
		製造業(精密機器)	例年、活発になります。	
		運輸附帯サービス業	祭の準備が例年になく活気づいている。弊社の受注も右肩上がりが続くそう。	
	雇用	求人広告	先々の予定を聞くと夏前後に新事業や新施設開業などの話が通常より多いように感じる。	
		求人開拓員	先の工事関連(土木・建築)では震災後の立上りの悪さもあり遅れていること、復旧場所での人員不足が解消されていないこと、夏の参議院選後の安倍政権の政策にもよりますが、一応設備投資も年末に向けて加速していくのではないかと思います。	
	変わらない	家計	商店街代表者	客単価及び来客数が横這い。
			スーパー	今年は低調と読んでいる。消費税増税延期の効果が出るのは来年以降。前年と経済動向に変化がなく、更に企業収益も横這いのため、業績向上につながらず、個人所得も減少傾向になるとみられる。安倍政権も秋に経済政策を打ち出すというが、それでは今年に反映されない。
			スーパー	景気について同業界での現況では前年並、または2%程度のダウン(売上げ)。客数も単価も改善は見られない。この傾向は続く。
			衣料品販売店	これから良くなるとは思えない。
			小売業(弁当・惣菜店)	このまま景気が続くのではないと思われる。しかし、天候の影響が出てきたらという不安もある。
			小売業(燃料)	自動車関連の支出、特にガソリン使用量について特段変化の様子は無い。
小売業(水産物)			地域の皆さんとの会話でも景気の良い話題を聞かない。	
小売業(時計)			国政選挙もあるし、大きな変化はないと思う。	
スナック			消費税のこともあるし、皆さん昔みたいに盛大に使わず、それなりにしか余分なお金は使わなくなったように思う。	
食堂			皆、最低の生活をして無駄を出費しないでお金を少しでも使わない。職人さん達だってラーメンを食べて食費を削り、預金している。不安だらけなので。	
観光型ホテル			宿泊予約は、昨年同期よりやや増加、日帰り予約は、ほぼ横這いの予約状況であり、景気はやや良くなっていると判断する。	
旅行代理店			3か月先は観光シーズンであるが、営業状況から上昇気運はみられない。	
タクシー運転手			お客様の動向や話を聞いても良くなる方向へとは向いていない。	
ゴルフ場			9月時点の予約ペースは、前年同期比で、増減なしの横這い。	
ゴルフ場			特段、影響を受ける大きな要因がないため、特に変わらないと思う。	
ボウリング場			夏休みシーズンに入り、お盆の時期を中心に一過性の繁忙期はあると思われるが、大幅な来店客数のアップは見込めない。団体利用の客数も例年並みに留まるものと思われる。	
住宅販売会社	ここしばらくは状況に変化がないと思われる。			

変わらない	企業	製造業（電気機械器具）	同じく前年の受注状況として、特に変わった傾向は見られないため、景気は変わらないと思います。
		製造業（食料品）	当社は日配品なのであまり変化はない。ただしかなりの円安が進めば悪くなる。
		製造業（化学工業）	選挙結果もサプライズがないと思うので、景気を押し上げたり引き下げたりする材料はない。消費税増税の決定も、景気を良くする材料とならないと殆どの人が感じている。
		製造業（一般機械器具）	現時点で悪化する要因が見当たらない。
		製造業（精密機器）	見通しが不明な状況で先の試作は少しずつ入っていますが、目先がないので県外のメーカーに展開しています。
		建設業	お客様の様子から先行きに明るさは感じない。
		運輸業	新規の貨物取り扱いの話が少ない。
		金融業	日立製作所の景況がそのまま反映される構造であり、急激な変化は見込まず現状のまま推移するものと思われます。
		情報通信業（情報サービス業）	商談は増えてきているが、利益にはなかなか結びつかないと思う。
雇用	公共職業安定所	求人数が増加傾向を示していることから、やや良くなっているとしたいところであるが、管内企業の再編後の動向や円高及び中国経済の影響など不安要素も多くあることから、変わらないとした。	
	学校就業関係者	判断材料が見当たらない。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	いろんな意味で良くなる要素がみあたらない。
		コンビニエンスストア	状況は変化しないと思われます。株価は為替の不安定さも悪くなる原因になると思われます。
		小売業（酒類）	良くなることを願っていますが、むしろ悪くなっていくように感じています。
		ドライブイン	天気に左右されることが多いが猛暑になると厳しいとおもわれます。
		ゴルフ場	年々高齢者が増えるのみで売上げは減少している。
企業	製造業（電気機械器具）	受注残が少ない。また引き合いも少ない。	
	製造業（輸送用機械器具）	今回の英国ショックによって円高が急激に進行し、国内からの海外販売収益が減少する環境となっている。一方、海外からの輸入品（原油等）の価格が下がるメリットもあるが、全体ではマイナス要因が多いので、この傾向が継続すると景気が悪くなると想定される。	
	不動産業	消費税増税まで期間があるので、大きな買い物には飛びつかないだろうと思います。	
悪	家計	商店街代表者	顧客、あるいは出入りのメーカーに聞いても夏まえは不調。
		自動車販売店	メーカーの問題、そして消費税の増税の先延ばしの決定があり、消費者の購買意欲が失われる。
		居酒屋	お客様が少ない。
		観光型ホテル	個人消費が落ちている。夏休みでお金を使っているのですがその後は使わない。
		タクシー運転手	営業回数が以前より少なくなっている。
		タクシー運転手	景気が良くなる情報がないです。
企業	製造業（電気機械器具）	案件の減少が大きく起因している。	

(2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	自動車販売店	8月以降は東日本大震災の生産停止の影響がなくなり、また代替えの多い2回目の車検時期の車が多数あり、新型車の発表もある。
		割烹料理店	稲刈りの時期に入ると、やはり時期的に生ビールを飲みに来てくださるお客様が増えると思います。
	企業	農業関係者	水稻の収穫やお彼岸の小菊の出荷も始まり、景気は良くなると思います。
		製造業(金属製品)	先の案件が具体化してきた。今後予定されている案件が非常に多い。近いうちに本格的に稼働し始め、数か月後には相当忙しくなることが予想される。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	消費税の先送りが決定し、購買も安定すると思う。
		スーパー	消費税増税が延期になり多少ムードが落ちつく。オリンピックで外食なども一部盛り上がればと良い。
		コンビニエンスストア	増税などを見据えて住居購入、建設などが高まり、消費が動くと考えます。特に、住居の建設が多くなれば、我々コンビニエンスには追い風になると考えます。
		楽器販売	動きの出た高価商品に関連するが、消費税の据え置きは好材料。単価の高い弊社の扱いは消費税の影響をもろに受けるので、この措置から少し動きが出てくるのではないかと考える。
		旅行代理店	熊本地震も落ち着きを見せ、これからは復興への兆し。国を挙げての九州キャンペーン等で売上げにも期待。
		タクシー会社	消費税増税延期の見通しがついたことで、消費行動の腰折れは一応回避できたものと考えられる。
	企業	製造業(食料品)	根拠はないが希望的観測である。消費税率の上昇を抑制したので消費者心理も少しは緩むのではないかと。
		製造業(窯業・土石製品)	8月から9月にかけてまとまった受注が出来そうである。
		製造業(精密機械器具)	複数OEM先の受注が順次売上げに計上されて行くので、回復傾向になると予測しています。
		不動産業	9月、10月は転勤時期なので、不動産業界は多少良くなるのではないかと考えます。
		サービス業(広告業)	下期のスタート時期は広告宣伝が活発化する。人もお金も動く時期である。
		サービス業(コンサルタント業)	県南地区を中心に大規模な開発が増えていくと思われる。
	雇用	求人広告	今後の前向きな話と新規出店がある。
	変わらない	家計	商店街代表者
百貨店			9月には物産展など集客が見込まれる催事を予定し、売上げは増加傾向になると思うが、残暑の影響によっては主力の衣料品に影響が出て、今月と客単価がさほど変わらないとおもわれるため。
百貨店			お買物を慎重に行っている方はかなり前からいらっしゃるが、その流れが変わったことがなく今後も続くと考えられる。
スーパー			伸びる要素が見当たらないため、変わらないと思う。
スーパー			参議院選挙はあるが、終わっても景気は良くならないような気がする。老人が将来に期待がもてないと言っている。
スーパー			先行きが不透明で良くなる要因が見当たらない。
コンビニエンスストア			選挙への関心、イギリスEU離脱のニュースを聞いても、身近な人たちの生活には、まだ、変化がないと思います。
小売業			中国政府の関税の引き下げ、国際線の増加等、外的要因が好転しない限り現在の状況は変わらないと考える。
農産物直売所			現在も昨年対比をやや下回る推移となっている。同じ傾向が続くと思われる。
レストラン			目立った変化が見られない。
レストラン			ボーナス等が多くなったり、収入が増えたりといった話も特になく変わらないと思われる。
都市型ホテル			良くなる要因がない。
旅行会社			バスは見積りだけの提出で、決定するお客様が少ないため。
タクシー運転手			お客様の話ですが、スナックに入ってみたらお客様がいなかったらしいです。次のお客様が来店したら帰るつもりがだれも来なかったそうです。高額な飲食になり、今までは月に2~3回飲みに来るのに、今は2か月に1回だそうです。

変 わ ら な い	家計	タクシー会社	県外よりの顧客の増加が上昇傾向にある中で、地域の乗車率が低迷している。また、観光客の予約依頼も前年比較で多少の上昇傾向にあるが、地域顧客の利用状況が下降傾向にあるために、全体として変動はないものと判断します。
		ドライブイン	特にイベントがなく、変わらないと思います。
		観光名所	3か月後には秋の行楽シーズンを迎え各地イベントも増えるが、観光業に関しては来客数は伸びているように感じるものの売上げが比例するかという点と難しい。依然、消費に関しては消費税増税が先送りされたものの厳しい景気状況が続くと思われます。
		レジャー施設	夏休みに向けて、当社のホームページ、SNSカウント数から「下調べ」していることから夏の動向が期待できるところであるが、反面として安価で・楽しめる施設等の計画とが選んでいる段階かなと感じます。良い方向になっていると書きたいところですが、入場者数の推移は昨年と変わらない結果であるので、お客様も賢く様子を見ている「変わらない」と推測します。
		ゴルフ場	気象庁に左右される時期になり、予約はきてもキャンセルが多くなる。
		スーパー銭湯	今夏は暑い予報が出ているため、クールシェアでよくなると期待しているところ。また、消費税の延期が正式に決まることにより、雰囲気も良くなると思っています。ただ懸念されるのが8月5日～8月21日までのリオオリンピックが外出の妨げにならなければ良いと思慮しております。
		レジャー施設	ポータル販売業界から景気の良い話は聞こえてこないことと、マリナーへの問合せもそう多くない。
		住宅販売会社	消費税増税の延期や最近の円高・株安傾向から、あまり大きな変化は見られないのではないか。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	大きな案件が入る予定もあるが、全体としては変わらないと思われる。
		製造業（印刷業）	好転する要素が見当たらない。
		運輸業（道路貨物運送業）	今後も貨物の動きに変化は見られそうにない。
		金融業	3か月先の売上高の見通しは、ほぼ全業種において横這いと見方が多いことから、景気は現状と変化なく推移するものと思われます。
		情報通信業	市場の活性化に期待するが、顧客様子では先行きの景気の判断に迷いが伺え、特に設備関連の投資については、決断まで時間を要するようだ。従って、3か月先の景気は現状維持ではないか。
	雇用	人材派遣業	大きい受注の予定も減産の予定もなく推移しそう。
公共職業安定所		新規求人倍率が28年3月、1.67倍 4月、1.53倍 5月、1.69倍と推移している。	
学校就業関係者		特に大きな変化等の連絡がない。	
就職相談員		当センターも求職者に、HWオンライン求人情報などを提供しております。正規雇用を増やすべきキャリアカウンセリング（職業相談）を行っております。採用者の多くが、非正規雇用です。経済的不安定要素を多く含んでいるのが現状です。もう少し、国内消費が増加していくと製造業などに採用意欲が見られるのではないかと。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	レストラン	インバウンドの時期が終了して、個人も回復がすぐに戻るとは考えにくい。
		都市型ホテル	3か月先までの予約状況を見ても昨年より悪く、この先どこまで伸びるか不透明である。
		観光型ホテル	景気先行き不透明から国内旅行そのものが昨年に比べ弱含みになると思う。
		タクシー運転手	残暑の厳しい時期なので客の動きはやや良くなるが、それは毎年のことである。客単価や客数は減少傾向なので景気はやや悪くなると思う。
		理・美容店	9月はお盆の後で、ほとんどの方が8月のうちに来店する方が多い。
		建築設計事務所	引き合いが少なく例年とは違う危機感がある。
	企業	製造業（食料品）	取引先によっては、受注数減少がここ1～2年続いているところもある。打開策が見出せていない様子。
製造業（一般機械器具）		先を見ても取引先を見ても良くなるという会社はない。	
悪	家計	スーパー	平成29年に予定されていた消費税増税が延期され、将来受けるであろう社会福祉、社会保障等への不安が高まったので、さらに節約志向が高まっていくと感じる。
	企業	建設業	必要なものでもためらっている感情はこのまま続きそう。

(3) 鹿行地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	商店街代表者	商店街活性化に向けた取り組みの中で、観光客誘致を目指した新たな事業を企画している。希望的観測を含めて景気上昇を期待したい。
		小売業	季節による飲み物等の売上げ期待と、お中元シーズンもある。
		洋食食堂	売上げ・客数とも堅調に動いています。
		日本料理店	普段の仕事の考え方を少し変えて営業を始めたので、お客様の反応が少しずつ良くなっていると思います。景気も上向きになると思います。
		ドライブイン	消費税の引き上げが、先延ばしされたため、行楽などへの消費への期待が持てる。
		理・美容店	サービス産業はゆるやかに1回の利用金額が増加しているとみられます。
変わらない	家計	コンビニエンスストア	商業施設の建設等により来客増と好材料にあるものの、一時的であり、現状においては横這いと判断。
		家電販売店	増税先延ばしの影響もあるのではないかと。焦りは感じなくなった。
		農産物直売所	お客様の買い方を見ても、景気が良くなる気配はしない。理由は、単価の高い商品を買っていただくお客様が確実に増えた。店内でより吟味して、他店より安いものしか買わなくなっている。
		小売業（菓子類）	特に良くなる要因も、悪くなる要因もないと思われる。
		小売業（食品）	変わらないと言うことは、全体的にやや良いと思ったほうがいいのか。小売りは伸び悩みだが、夏に向けて煮干類で頑張りたいと思う。
		和食レストラン	売上げ等を加味。
		割烹料理店	客単価は下がっているが材料費などは上がっていて、利益率は良くない。
		海鮮料理店	お客様の人数は、あまり変化がありません。しかし、1人の単価が良くない。結局皆先が見えないため、安価な物を選ぶことになる。
		観光型ホテル	予約状況、予約内容から判断して特に変わらないと思う。
		タクシー運転手	今の状況からして3か月先、1年先にも良くなるとは思えない。
		タクシー運転手	ここ数年状況が同じ。
		タクシー運転手	地域周辺の状況からして良くなる環境が見られない。
		ゴルフ場	天候要因で大きい影響を受ける業種であるが、この要因を除けば変動はない。
		理・美容店	3か月前・6か月前とあまり変わらないので、3か月先が良くなっているとは思えない。
住宅販売会社	更に良くなるほどではないと思う。		
住宅販売会社	変化の要因がない。		

変わらない	企業	製造業（食料品）	季節的に落ち込む時期であるが、例年通り良いも、悪いも特に情報がない。
		製造業（食料品）	相変わらず不景気ムード。
		製造業（食料品）	中小企業や地元一般客がほとんどであるので、中小企業の業績が上がリ、利益が出るのがまず大事。給料が上がリ、可処分所得が増えることが必要です。
		製造業（食料品）	ほぼ現状維持と思われる。
		製造業（電気機械器具）	特に良くなる材料が見当たらない。
		製造業（鉄鋼業）	特段状況が変化する様子はない。参院選挙後に良くなっていくことを望む。
		建設業	新年度も3か月目をむかえ、活発な動きもみられますが、受注につながっていない気がします。
		建設業	大手鉄鋼会社も製品の売れ行きが悪いようです。地元の人達も海岸に住んでいる方など、津波が恐いので高台に引越したい人はいるみたいです。
		金融業	私共の取引先である中小零細企業においては、売上高等は横這いで推移している企業が殆どであり、業況が好転している企業はあまり見受けられない。
		不動産業	変化する要因が見つからない。
		内装工事業	消費税の先延ばしで消費者も商工業者も安堵していると思います。しかし、2年半後には増税が持っているだけに必要な物しか消費しないような気がします。
		火力発電所	特に変化は感じられない。出荷見込みが前年度並み。
		雇用	人材派遣業
民間職業紹介業	求職者数が増えない状態が続くように思われる。		
公共職業安定所	人手不足業種（建設、医療、福祉等）の状況が続いており、大きな変化は特にない。		
学校就職関係者	景気の良くなる情報があまりない。（強いて言えば、夏のオリンピックがあるくらい）実際基本給が上がらない。受験の際に奨学金等を聞いてくることが多い。		
求人開拓員	50代以上の高年齢の求職者は、なかなか職に就けない人が数多くいる気がする。		
やや悪くなっている	家計	スーパー	年々お客様が年齢の高い人になっていて、客単価が悪くなってきているのを何とかしてきたが、少しずつ悪くなるような気がします。
		スーパー	マーケットの中で同業・他業態も含めて、新店舗等もでき、競争はますます激しくなっている中で、どのように深掘りしていくかが課題です。
		コンビニエンスストア	個人消費は上向いていないと思われます。消費税増税の動きには敏感ですし、来店されるお客様の客単価は横這いもしくは低下している傾向。
		農産物直売所	消費税導入がなくなっているから。
		小売業（薬品店）	地方の（特に鹿行地域の）失業率が増えていると思うから。
		小売業（書店）	夏場のオリンピックの影響は毎回です。近隣の商業施設がオープンしたことで、まだ当分売上げ等に影響がでると思われます。
		レジャー施設	短期間に回復できる状況にはなしと考える。
		クリーニング店	店側は消費を増やそうと値段を下げる。デフレが進む経営は苦しくなってくる。
	企業	農業関係者	現在の経済環境は、原油の上昇、更にはマイナス金利、実質賃金の伸び悩みなどにより、今後将来の景気は現状より、若干悪くなると思われる。
		製造業（食料品）	今年の夏は猛暑ということなので、原料の価格高騰が心配です。
運輸業（道路貨物運送業）		参院選前・米大統領選・英国EU離脱等、不安材料が多く消費税延期になったものの、物流に関しては動きは鈍い。	
運輸業（道路貨物運送業）		回復しないでいってしまうような気がする。	
保険業		個人商店で仕入れて販売している所が厳しくなると思う。	
企業	サービス業	EUからのイギリス離脱というような政治不安、アメリカの大統領選挙で、政府主導の積極的な景気対策が打てない可能性があり、中国市場の低迷とともに改善の傾向は認められない。	

(4) 県南地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	日本料理店	当店はうなぎを扱っているのですが、7月には土用の丑の日が来るため今よりは良くなると思う。
やや良くなっている	家計	専門スーパー	消耗品だけでなく、耐久消費財の動向も良い。
		和食食堂	増税が延び、消費が増えるのではないかとされる。うなぎ等の単価の高いものが出るようになってきた。
		タクシー運転手	法人の利用がさらに増加すると思われる。
		住宅販売会社	消費増税延期もあり、しばらく良い状況は続きそう。
	企業	製造業（飲料）	季節的な物しか判断できないが、旅行等外出が多くなる。
		製造業（家具・装備品）	今年1月頃より受注が多少増えてきたようですので、当社ではこのままで波のない販売が出来れば良いと願っております。
		製造業（非鉄金属）	自動車の販売が計画通りに推移しており、右肩上がりの計画である。
		建設業	このままの状況でいけば、社員を増やさなければならないと思う。官公庁の工事が主体の当社だが、民間からの発注が増加してきている。3か月後もこのような状況は続くと考え、景気はやや良くなっていると思う。
		運輸業（倉庫業）	食品関係は好調維持が期待される。化学材料関係は季節的要因が含まれ、期待できない。
	雇用	人材派遣業	サービス業のオーダーは増えているので、やや良くなっている。製造業も、自動車関連の問題がクリアになってくると思う。
求人開拓員		週に1度HWの求人情報を取るが、求人が増えている。ジョブカフェも事業者から、求人の依頼がある。	
変わらない	家計	スーパー	消費税8%据置きにより変わらないと思われる。
		スーパー	変わる要素がない。
		コンビニエンスストア	特に、景気が上がる要素が思い当たらない。
		家電販売店	夏物で売上げは伸びるが、大幅に変動する要因はないと思う。
		農産物直売所	地元リピーターが多く地元の台所となっているため、お客様も毎日通い、少量の野菜を毎日買って行く。
		小売業（生花店）	景気好転の要素が見つからない。
		都市型ホテル	宿泊での中国の動きが気になるくらいで、特に変わらないと思います。宴会のオンハンド状況で、多少宴会獲得減少が見られますが、大きく剥離することもないと思われ、変わらないと思います。レストランの個人消費も増税も引き延ばしとなり、変わらないと思われ。
		旅行代理店	シーズンに向けて利用客は増えると考えられるが料金等に関しては情報が見やすいこともあり、安価で条件のよい商品の選択する傾向にあると思われる。
		タクシー運転手	夏のボーナスも期待できないというお話ししているので、変わらないと思う。
		タクシー運転手	良くなる理由が見つからない。
		タクシー運転手	企業業績(地元の中小企業)が横這いと思われる。飲食店関係のお客様からの迎車回数も横這いである。
		サービスエリア	6月に入っても売上げの傾向は若干低調気味であるが、景気の変化に影響を与えるほどの落ち込みとは思われない。また、7月には参議院選挙が行われるが、この結果如何せん個人消費が特段に変化するとも思われず、他に変化に影響を与える出来事も考えられないため、今後3か月先も特に変化はないと判断した。
		ゴルフ場	この夏は猛暑という見方もあり、野外のスポーツ娯楽には厳しそう。現在は多少良くなっていると判断したが、さらに良くなっているとは言いきれない。
		工場見学案内	直前の来場者数やショップ売上げとも減少傾向である。特に5月の平均気温が例年より高めであったにもかかわらず、ビール類の売上げにも上昇に転じていない。総じて年初来より本年景気は昨年より悪化しており、今後上昇に転じる兆候を見出せていない。(悪い状況のまま横這い)
		レジャー施設	全国的な業界の動きがこここのところ悪かったが、この先は例年に近いプログラムに近づいてきたため、改善していくと思う。ただ、顧客の動向自体が変化する訳ではないと思う。
		理・美容店	オリンピックなどで気分的に財布の紐が緩むかもしれないがそんなに特に変わらないと思う。
		理・美容店	悪くならないための企業努力を継続していきたいので、「変わらない」とお答えさせて頂きました。

変 わ ら な い	企業	農業関係者	お客様全般における「買え控え傾向」は依然として続いている。
		製造業（食料品）	世の中全体を見廻して景気が良くなっているようにはみえない。株が下がったり、ガソリンが上がったりしていて、現状維持がやっとならないか。
		製造業（食料品）	良くなる要素が見当たらず、悪いまま変わらないと思います。
		製造業（印刷業）	来客数が増加するとは思えない。
		製造業（一般機械器具）	変わるような材料が見当たらない。
		建設業	例年、売上げが鈍る時期なので、あまり変わらないのではないかとと思われる。
		建設業	見積り等の話があまりない。
		金融業	経済効果に結びつくような話題もあまりなく、引き続き現状と変化なく推移するものと思われる。
		不動産業	当社としては現在の状況を基準に考えると大きな変化はなく、変わらないと思います。時代の変化、ニーズに対応した業者に於いては今後も大きな心配はないと思う。
		雇用	求人広告
公共職業安定所	求人、求職ともに活発な動きが見られない。		
学校就職関係者	最低限の支出に抑えた暮らしが定着しているように思う。		
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	昨年7月終りから地域振興券があり、売上げ等にかなり貢献したので前年売上げを達成するのは厳しそうです。
		スーパー	EUの離脱（問題）の余波などがあり、リオのオリンピックがあるので売上げ的には上がるかもしれないが、景気の様子ではやや悪くなっていく。
		小売業（米穀）	仕入値が上がり続けています。値上げ交渉も受け入れてもらえません。平成28年産の新米価格も昨年より高い予想なので、こちらも心配です。
		和食食堂	水郷の観光シーズンが終わる。
		洋食食堂	駅ビルの中や駅前飲食チェーン店が閉店しました。景気が悪くなっている商売が良くなっていくことが難しい状況ではないかと考える。
		寿司店	6月は役員会の多い季節でいろいろな人と接して話し合うことが多く、皆が景気が悪くなるのではという話題がよく出てきます。
		都市型ホテル	宴会・会議・宿泊において予約が思うように伸びず、やや悪くなっているように思われる。
		ゴルフ場	予約の状況を見ても、例年より遅くなっている。参院選の結果次第では大きな変更があるかもしれないとの認識がある。
		ボウリング場	平日の夜、週末の稼働率UPが鍵ですが、決め手になるかは分からない。
		企業	農業関係者
製造業（金属製品）	受注量に増加するとは感じない。		
製造業（窯業・土石製品）	今の経済政策では、とても消費や設備投資の盛り上がり間は期待できない。		
建設業	太鼓の販売業者も今年に入ってほとんど取引がないと言う。異業種であり普段取引のない太鼓業者の社長とも雑談したところ、業界ではほとんど学校以外の取引がないため、某小学校での音楽部へ2～3点納品する時、市内4業者以外に県外から2業者が無理に参入してきて、通常の価格より3割も安く落札するのが現実とのこと。		
悪	家計	住宅設計販売	お客様の話から消費を抑える傾向の話ばかり出てくる。

(5) 県西地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	-	-	-	
やや良くなっている	家計	専門スーパー	夏のボーナスが大手、公務員で増加傾向にあるので、消費動向に多少期待できる。	
		都市型ホテル	客層が若干高めの弊社ではあまり大きな変化は見られないと思うが、近隣で、大規模な工事があるため、一時的ではあるが売上げ等は伸びるのではないかと考えています。	
		タクシー運転手	国選挙が終了し、社会が落ち着く。	
	企業	製造業（窯業・土石製品）	期待を込めて良くなっているとしたいのですが、今のままでは多少は良くならないと困りますので、今までのやり方を根本的に見直し、商売の仕方を徹底的に変える必要があるのかもしれない。	
		製造業（金属製品）	新年度発注品の動きが遅いことに関連して動きが出てくると思われる。	
	雇用	求人広告	今の段階で良い話が多少あるので、これが近い将来に結果として表れていると思う。心配な部分はその景気の良い話が、ある一定の業種や企業のみなのでどこまでの影響力があるかだ。お客様の大多数が地元企業だが、そちらはあまり人員や製造を伸ばす動きが見えていない。	
	変わらない	家計	スーパー	取り巻く条件がみられない。
			衣料品販売店	イベントなど刺激になるようなことがない。
			和食食堂	消費税増税の先送りが発表されたが、そのことでかえって年金等、将来の生活不安を増大させてしまい、節約、貯蓄に向かう可能性の方が大きいのではないかと、当面は様子見で現状維持と予想します。
			和食食堂	残暑の厳しい時期であり、客単価や利益率も悪くなると予想される。
飲食業			業種的に「季節的な要因」や「社会習慣」などの影響をうけるので、あえて含めて答えませんが、夏休みが過ぎる8月末から9月はお客様の動きは鈍ります。	
和食レストラン			9月頃になると法事などの予約が少し増えてきますが、残暑厳しい時期で客単価が下がり、客の動きもやや鈍くなり、客足も減少すると推測されるので、景気は変わらないと思います。	
旅行代理店			アベノミクスが我々庶民にとって何か利益があるのか、良くなったことがあったか、いろんな方が話していたが、一般人には何ら変わらないどころか、悪くなっている。	
タクシー会社			法人客の利用度は現状維持。一般のお客様の利用度が期待できない。	
タクシー運転手			駅からのタクシー利用者が多くなってきているが、配車（電話）のお客様が増えてこない。	
ゴルフ場			予約状況にて判断。	
ゴルフ場			消費税10%延期により駆け込み購買等もないため、現状維持だと思います。購買においても前年並みの状況。	
ゲームセンター			人気のあるゲーム機も徐々に落ち着いてきている。	
理・美容店			良くなりそうな気配はなく、来店サイクルも変わらず長い。	
建築設計事務所			不景気の底を這い続け、疲労しきったこの感じは簡単には抜けられない。	
住宅販売会社	ここしばらくは、このままの状況が続くと思われる。			

変 わ ら な い	企業	農業関係者	正直よく分からない。
		製造業（印刷・同関連業）	消費税アップが延期になり、安心している。これで景気も「変わらない」ではなく「やや良くなっている」にしたいところだが、地方の中小・零細企業の現実には厳しい。シャッター通りにならぬよう、地方は老若男女、各々に一生懸命努力しているが、「都市と地方」「大企業と中小・零細企業」の格差がどうにもならない。
		製造業（化学工業）	自動車、電子製品市場とも大きな回復情報なし。
		製造業（窯業・土石製品）	消費税の引き上げ延期で若干の消費意欲の改善を感じるが、全体的には活発さを欠くと感じる。
		製造業（一般機械器具）	3か月先においても、受注量が増えるとは思えない。最近では、図面、加工、組立までやる大手に仕事は流れている。
		製造業（電気機械器具）	長期的な受注変動の把握は相変わらず難しい状況にあり、現状の人員態勢を継続する見込みである。
		金融業	土木建築業等の受注状況は良好であるが、小売業やサービス業、製造業等多くの業種では業況は変わらない。
雇 用	人材派遣業	求人数が減っている。	
	公共職業安定所	求人の中でも希望の多い正社員求人が増加するような動きも見られず、ほぼ横這いで推移すると判断される。	
	学校就職関係者	特段よくなる要素も、悪くなる要素も今の所見当たらない。	
	求人開拓員	急に求人が増えたり、企業が増えることもないと見受けられる。	
や や 悪 く な っ て い る	家 計	商店街代表者	市長選挙の影響で人が動かない現状があるが、3か月後は少し落ち着くことを期待する。
		商店街代表者	上向きになる要素がない。
		スーパー	競争店等の広告の販売価格が以前より安くなってきており、集客減、売上げ減への対応のように感じる。
		農産物直売所	消費税の引き上げがなくなり、購買意欲は下がるだろう。
		日本料理店	消費税の先延ばしにより社会保障及び老人対策の財源も見当らず、将来大変だと言葉に出す人もあり、その声が蔓延すると益々景気は悪くなるような気がします。
		旅行会社	最近、夏は暑すぎて旅行する人が減少している。特に夏休み等、個人で出掛ける人が多いため、インターネットで調べて見つけて、自分で予約して出掛けるのが当たり前になってしまい、旅行会社の必要性が薄れてきている。
		ドライブイン	一部製品での値上げが報告されており、販売価格に転嫁しなくてはならない状況が考えられ消費が落ち込むと予想される。
		ドライブイン	夏のボーナス状況にも多少左右されると思うが、可処分所得は増えておらず、消費に回す余力が一般庶民にはないと思われる。安倍政権が打ち出す景気対策に多少の期待を持ちたいが、今までのような大企業、都市部中心の対策では地方の景気は改善されない。
企 業	製造業（食料品）	良くなる要因が見当たらない。	
	製造業（食料品）	弊社自体の売上げはあまり変わらないと思うが、付き合いのある取引先の担当者と話していると、大企業の好況が中小企業に波及効果を及ぼす前に停滞しているとの話をよく聞く。	
	製造業（印刷・同関連業）	デフレスパイラルが止まる要素がない。	
	製造業（印刷・同関連業）	アベノミクスなど、地方には全くといって良い程波及してこなかったが、長期的低下傾向は変わらない。消費税アップ延期も低下は防げても上昇にはなるのか、若年層に将来への明るい見通しがないことが不安となつてののしかかり、やる気を削いでいるように感じる。気持ちが消費行動、積極的生活指向を阻害しているように思う。	
悪	家 計	製茶販売	良くなる理由がない。消費税が変わらないのだから関係ない。
		タクシー運転手	人の動きが少ないし、町の商店も昨年の大水洪水で店を閉じている所が多い。
		クリーニング店	ガソリンの値上げや円安により、今より生活が少し厳しくなると思う。
企 業	建設業	民間需要の停滞。	

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	同業者で後継者の問題で売り出し、店長が交代するという事があった。事業で継続する事が難しい時代がやって来ている。
	スーパー	給料日や年金受給日等に消費が集中してきている。価格に対してのニーズは以前にも増して大きくなっている。ヒット商品がなく、品揃えの多種多様化が必要。大きく売れる商品がない＝可処分所得の減少、または先行きに対する不安からの貯蓄が進んでいるのか。
	スーパー	店の前にもアパートが2棟建ったり住宅の新築が近くにたくさん出来た。
	スーパー	住宅新築は前年より多くなっていると思う。若い方の持家が多く見られる。その分、食費減かもしれない。
	小売業（弁当・惣菜店）	内税表記のため、2段階税上げを意識し前回の消費税変更時に十分な転嫁ができてなかったためいくつかの商品を次の消費税時に上げようと据え置きしていた今回の消費税据え置きは誤算である。昨年からは、求人を出しても問い合わせが極端に減った。
	小売業（燃料）	ハイブリット車、エコカー（省燃料車）への買い替えが進んでいる。
	小売業（酒類）	近隣製造業など仕事がなく、週3日休みを取らざるえない企業もあるようです。
	小売業（時計）	我々もそうであるが、メディア等の報道にかなり影響されているように思います。
	レストラン	良くなってくれることを祈りたいです。
	居酒屋	宴会がほとんどない。
	スナック	やっぱりエコカー、軽自動車への乗りかえが増えていることから、先行きが不安定でお金を使うのを控えたい人が多いのだと思いました。
	中国料理店	建設業のお客様、それに関連しているお仕事の方達は、とっても忙しいようなので、一部であっても忙しい所があれば、全体的に少し景気が良くなって行くのではないかと期待しています。
	食堂	お金のある人はデパートでも高いものを買うプライドがある。ランクを落としてスーパーで10年位前の服を買い、それをいかにして見えが良く見えるか今の若い子だって考えている。客数は多いが客単価が10年前と同じ。儲かるなんてことはない、世の中に奉仕の気持ちで頑張る。
	観光型ホテル	メリハリがはっきりしていて使う時は思いっきり使う、その他はほとんど使わない。
	観光型ホテル	常陸牛の仕入れ値が高騰しており、料理の価格を上げることも検討している。
	タクシー運転手	私の仕事テリトリーには日本でも有数のグループ企業、関連会社があり、6月上旬にはこれまでも最高となるような高額ボーナスが支給されたそうだが、こちらの売上げに直結する、飲食街で進んで沢山消費してくれる様子はない。ボーナス支給額が低レベルの業界ならいざ知らず、いっぱいもらっている人は、どんどんお金を使ってもらって景気を循環させる索引役を担ってほしい。今の世の中、高額所得者はこれが景気に関して最大の義務だと思います。そして私のような低所得者はそのおこぼれをありがたく頂戴したいと思います。
	レジャー施設(かみね公園)	景気は県北地区でも、多少は上昇傾向にあるのかと感ずることがあります。（小売店の顧客の状況を観察しておりますと、買い物カゴが今までより商品が多い方が増えていると見受けられます。）秋の県北芸術祭に期待すると同時に、各商店街等もお客様を受け入れる体制を強化すべきではと考えております。せつかく与えてくださった機会ですので芸術祭を盛り上げていきたい所存です。
	ゴルフ場	各ゴルフ場とも価格が値下りしている。
ゴルフ場	近隣コンビニ等、低価格競争の宣伝チラシが毎週発行されている割には、購買力が向上がっていないというのを聞いている。参議院選挙の消費税動向と一億総活躍戦略の具体等の公表が待たれるとの声がある。	
企業	製造業（電気機械器具）	原子力の動向が不透明ではあるが、国内電力の需給を考慮すると、いつ立ち上がってもおかしくない。動向を注視し対応できる状態としている。
	製造業（電気機械器具）	人材の確保が困難な状況である。新卒、中途、派遣すべてに言えることである。特に新卒は求人を出しても、応募が集まりにくい。大学生については、インターシップで3年生より前に接する必要性を感じる。
	製造業（食料品）	最近、スーパーのチラシ特売品が下がってきているように思われる。客の動向がそうさせているのか。
	製造業（化学工業）	金融機関の営業攻勢が活発です。貸したいのでしょう。
	製造業（電気機械器具）	お客様の調達方法に、他地域より、また大手企業の参入が見受けられる。
	製造業（精密機器）	厳しいところもあると聞いている。
	製造業（精密機器）	やはり目先がないのと、他は先の試作も入っていない状況で困っているみたいです。県外からの受注を考えているみたいです。
	金融業	中小企業が積極的に設備投資している様子は見られない。日立市は、日立製作所関連の新規雇用が少ないことから、若年層の人口流出に歯止めがかからない状況で高齢化が進んでいる。
雇用	求人広告	消費税増税先送りがどのような効果・影響を及ぼすのかを好意的に期待している方が多いように感じる。
	公共職業安定所	安定所主催で6月に事業所の採用担当者を対象とした「学卒求人受理説明会」を開催したところ、昨年以上の参加者があり新卒者用求人増加が期待できる。
	求人開拓員	大手建設会社の建設ラッシュは相変わらず、この周辺では特に目を引く景色であるのと、太陽光パネルの設置が多く最近では山林を切り拓いた設置工事が目立ちます。医療、介護、土木建設関連の募集は定期的に求人票が更新されて応募者の不足を感じています。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	個人商店の廃業が目立つ。特に飲食店に多い。
	商店街代表者	この5年で当商店街から組合員が77店から91店が閉店しました。5年で出店した店舗が11店で、現在56店が営業しています。今年になっての閉店が大震災時と同じくらいの速度で閉店しました。金融機関から借入れた借金が返済できなくなり、地代や家賃が負担になり、採算が合わなくなって閉店しています。当店も商品が売れない日々が続いております。
	百貨店	自分の趣味、大好きなもの・ことについては消化に対してハードルはさほど高く設定していないように感じるが、シーズン商品（トレンドがあるアパレル系商品）や消耗品についてはやはり慎重な買い方が見られる一方、高額商品を購入されるお客様もいらっしゃる。
	スーパー	夏も猛暑になれば、冷たいものなど含めて消費が活性化する。地域イベントの件数も増えてきて、地元密着で盛り上がってきている。
	スーパー	貧富の差や、商売でも勝ち組・負け組の差が拡大しているように思われる。
	スーパー	キャンピングカーなど贅沢品を扱っている知人は、この業界は全国的に忙しいと言っています。
	コンビニエンスストア	従業員の知り合いのバス会社さんの話では、去年と今年を比較しても大きな変化はないとおっしゃっていました。
	小売業	中国人の爆買の鎮静化。大量の電化製品を購入する中国人が減ったように思われる。
	自動車販売店	取引しているサービス業の会社の多くの社長が、前年より上向いて車両の代替えを検討している。
	農産物直売所	外食に行く頻度が少なくなった人が多くなったと思われる。（自分の周りの人）
	楽器販売	弊社取り扱い品は特に生活に密着していないので、不景気の時は本当に動きが悪くなる傾向があります。逆に動きが出てきたということは、少し流れが良くなりつつあるのか。少し時間をかけて検討していきたい。
	割烹料理店	消費税10%見送りは、日々仕入をしている身としては正直ありがたいのですが、国全体の借金やいまだ復興中の東日本大震災、熊本地震、そして東京オリンピックと重なると、必ず我々地方にもしわ寄せが来るのは確実なので複雑ですし、生活保護を受給しながらお酒を飲みに来られるお客様などを見ると、もう少し税金の使い方を考えていただけないものかと思えます。
	観光型ホテル	昨年までのアベノミクス効果による高揚感が薄れてきているように思う。
	旅行代理店	地方創生交付金を活用した事業に期待しています。
	旅行会社	日本を訪れる外国人旅行者は増えているが、茨城県には旅行者が増えている様子はない。バス料金を値上げしても、運転手の労働条件の改善や給料アップにはなっていないと思います。
	タクシー運転手	会社の近くに海鮮井屋様が開店しましたが、駐車場が狭くてお客様が入らないのでは。
	タクシー運転手	市内で起きた事件から繁華街の客足は落ちたように感じる。一種の風評被害なのかもしれない。早くこの事件から立ち直ってほしい。
	タクシー会社	ご老人のお客様より、消費税の先送りにより社会保障費が据置になり将来不安が増加した。出来るだけ贅沢をしないで食事、交通費、衣類等の出費を減らすように心がけている。通院だけは減らすことが出来ないでタクシーを利用するが徒歩で行ける場所は出来るだけ歩こうと努力している。周りの知人も同じように出来るだけ出費を減らすようにしている。
	レジャー施設	6月といえば「夏の賞与」後には、良い景気感あるかも知れませんね。身近なところでは、かなり落ち込んでいた「バス団体」の予約が、時期早々であるが少しながら動いてきた感じもある。
	ゴルフ場	ゴルフ人口減少などの影響からかプレー料金の低廉化が恒常化している。
スーパー銭湯	ここにきて売上げ金に千円札が多くなっているのは財布が引き締まってきているのかと考えます。	
建築設計事務所	業界仲間の大半が仕事が薄くなる傾向だと言っている。	
企業	製造業(食料品)	地元商工会の助けもあり、小規模事業所向け助成金制度の利用者は増加し、世代交代した経営者を中心に活気が出てきているようにも見える。
	製造業(食料品)	取引先に尋ねても、消費が伸びず不況だという声が多い。
	製造業(印刷・関連産業)	消費税増税の延期が発表されたが、社会保障等将来のことを考えると決して消費が伸びることは考えにくい。むしろ不安要素が多いため、給与が上がらない以上今以上に出費を抑える傾向にあると思う。
	製造業(窯業・土石製品)	景気が回復しているとは思えない。むしろ減速している感じがする。
	製造業(一般機械器具)	ガソリンの上下が激しい。多少高くなりました。
	製造業(精密機械器具)	ここ最近、お客様からお預かりする測定サンプルの件数が増加しています。これは受注、売上げに繋がることで、業界景気動向の目安となります。
	建設業	一部の大金を動かす情報が一般的と思われた時代から個人が見の回りを感じ取って景気悪化を判断している様子。
	運輸業(道路貨物運送業)	ガソリン、軽油価格が少しづつ上昇している影響が心配である。
	金融業	水戸市内においては、大型商業施設に消費者が流れ、依然として地元商店街は苦戦を強いられている状況であり、中心部への集客向上を図るべく飲食を中心としたイベント等を随時行い、地域活性化を行っております。
	情報通信業	休日における郊外大型店の人手は相変わらずと思うが、立地環境は決して良いとは思えない小規模店でも、驚く程来店客で賑わっている店がある。消費者は、品質の良さや評判を敏感に感じ取り、リーダーとなり、若干高めの価格や不便なアクセス面を乗り越え購入するようだ。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	新聞折込の求人情報も、ピーク時に比べ減少気味に思われる。
	スーパー	地震後の公共工事が大体終わったので、建設、土木の人が少なくなった。
	スーパー	当店はショッピングセンターのテナントとして入っていますが、他のテナントが2つ抜けてしまっ てから客数が前年を下回っている。
	スーパー	消費税増税時期の延期で、ややほっとした感じがみられます。
	コンビニエンスストア	求人募集の効果が乏しいです。正規雇用を求める方が増えている傾向と思われま す。
	農産物直売所	今回は今まで以上に同業他社の声、お客様の声など様々なところで景気は良くないとい う話を耳にするようになった。
	農産物直売所	大きな変化がない。
	小売業（食品）	ガソリン・灯油などの燃料代が、昨年と比べると下がっているのが助かります。
	和食レストラン	5月の売上げは伸び悩んだ面あり。
	洋食食堂	当地は畜産が盛んであり、豚肉を使ったメニューをチャレンジしました。盛りだく さんの豚肉入りのスパゲッティを4月の末から始めたところ、5月だけで338個の出 数がありました。すべてのメニューの中で1番の出数となり、新メニューでなくとも少 し手を加えたものでも充分にお客様の支持を得られるメニューを作ることができ ると確信しました。
	割烹料理店	消費税の増税が延期になったが、景気にプラスに働いてくれれば助かる。
	日本料理店	どの業界も景気に関していいところ、悪いところがあると思います。独自路線や付 加価値を付けているところが景気が良いです。
	海鮮料理店	私共の所は、良く団体様がいらっしゃいます。しかし、皆様の言葉は、できる だけお金を使わず楽しむ方法をいつも考えているとの話を伺いました。または、外 に出た時ぐらいお金を使う方が多かったです。現実には先行きの不安の方が多いた め、使えない。
	タクシー運転手	節約志向が徹底して無駄な出費はしないように見える。一方、週末など外食店 では行列が出来たりして全体的に良いように見える。
	タクシー運転手	地域周辺で西部地区のショッピング集合地区が開設され、利用客の出入りも 多く地区発展の表情を感じる。
	ドライブイン	メロン・イチゴなど旬の商品は、売れ行きが好調です。
	理・美容店	回転すし店やファミリーレストランの利用回数が増加しているように感じま す。物品の購入（ファッション衣類）よりも飲食に対する消費の多いと感じま す。サービス業は利用品数の増加を努力しなければと思います。
	クリーニング店	若い人が長続きしなくてすぐやめてしまう。将来が不安である。
	住宅販売会社	消費増税が延期となり、駆け込み需要が見込めなくなったため、消費動向が どうなるのか、それ次第で今後の受注に響くことになりそう。
	企業	農業関係者
製造業（食料品）		業界全体を見ても景気の良い話題がない。
製造業（食料品）		景気の減速があつてか、日本の伝統や文化風習が薄れてきている。そんな中 で文化や風習の伝承が必要な和菓子の業界は厳しいものです。
製造業（食料品）		取引先の飲料容器業者の合併が発表になったのはコンビニの焙煎コーヒーの 販売伸張に起因するものと思われる。
製造業（電気機械器具）		上向いてはいないと感じる。
建設業		労働力確保として、外国人実習生を建設業界での採用が増加しておりますが、 国内の若者の雇用にも力をいれて取り組む必要があるように思います。
運輸業（道路貨物運送業）		少子、高齢化により町内活動も実際動けないお年寄りが増え、機能低下して いる。比較的若い世代の夫婦で協力して組織運営していかねばならないと感じて いる。
金融業		大型家電量販店、複合商業施設のオープン等があり、個人消費は上向きに なると思います。
保険業		燃料店（スタンド）の多い所ですが、JAセルフ店が新しく出来てお客が流 れている。
内装工事業		仕事をしない、または、就活を諦めた若者達が見受けられます。私達の1 頃は遊んでいる人は少なく、皆、頑張ったものです。（当時は確かに景気が良 かったけど）親の援助があるうちにはいいのですが、今の若者は簡単に諦 めてしまうのでしょうか。このご時世正社員になるのも至難の業です。5 年後10年後、日本はどうなってしまうのでしょうか。
サービス業		年度明けから自動車業界の受注が減少している。
雇用		人材派遣業
	公共職業安定所	一部事業所において、請負先からの事業撤退がみられた。
	学校就職関係者	最近、通勤経路のコンビニが（5月末で）1件つぶれた。近くの店では、 改装の店もある。他にも近所の歴史ある病院（眼科）がつぶれた。特 徴的には、企業より、良い悪いがはっきりしている。全体としては良 くなっていない。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	以前は求人広告を出しても反応があまりなかったが、最近は反応が良くなってきています。
	スーパー	10月から社会保険の適用拡大が法改正により実施され、景気と直接な関係があるかは不明ですが、今までと同じ働き方をしているのは社会保険としてとられてしまうので、各家庭ではいろんな動きがありそうです。
	コンビニエンスストア	給料前と給料後のお客様の質・量共に、買われる方の変化が大きくなったと感じています。
	小売業（生花店）	市内のホームセンター跡地に大手鉄道会社が大规模開発を計画しており、食料品及び物販で2棟建設を予定している。
	専門スーパー	常総市を中心とした水害からの復興により、稲作再開など明るい状況もプラス要因と考えられます。
	小売業（米穀）	守谷駅周辺の飲食（居酒屋）店、平日夜がガラガラです。閉店時間を待たずに閉店する店もあるようです。これから量くなれば、会社帰りに寄ってくれるのでしょうか。期待は出来なさそうと皆さん口を揃えて言っています。
	和食食堂	客数が少し減るも、客単価アップで売上げは前年並となっている。
	日本料理店	2～3年前より、牛久近辺がTVに出たので観光客が出回り、遠方より来店するお客様が増えた。
	洋食食堂	近くのコンビニが野菜を販売するようになり、野菜が注目を浴びている。特にトマトは食べ比べしている家庭が多い。当店もグルメ情報サイトを通して野菜アンバサダーになっている。
	都市型ホテル	昨年の5月は、中国を始めてとするインバウンドが多く来館していたが、今年度が昨年より大きく減少していた、中国経済は景気の減少があると思われる。
	タクシー運転手	最近の葬儀は家族葬が多い傾向にある。
	タクシー会社	特売りのスポット商品しか購入していない。
	ゴルフ場	一時安くなっていたガソリンも少しづつ上がり始めた。地方では足として生活に直結している。なかなか景気の安定というのは難しいと思われる。
	ボウリング場	消費税8%にUPされてから消費傾向がシビアになったと思われませんが、10%に向けて更なる守りになったのか、実施が先送りになったとはいえ、特に遊興費への出費は抑えられるのではないのでしょうか。
理・美容店	お客様の中でパチンコが好きな人がけっこう辞めているので、景氣的には良くないのかなと思います。	
住宅販売会社	ペアアップや賞与の増額など、良い話を多く聞くようになってきた。	
企業	農業関係者	組合員の利用、JAは購買事業の低迷が目立つ。特に生活物資の減少があります。この地域は米価が下がらないと地域の景気は良くならない地域です。
	製造業（金属製品）	同業者の会話の中でも景気が良い話は出てこないように思います。
	製造業（家具・装備品）	当社は営業活動をしておりませんので、ロコミのお客様が多いです。近頃は遠方のお客様が多くなりました。しかし、これからの商売は難しくなりますね。
	製造業（窯業・土石製品）	ゼロ金利や金融緩和といくら打ち出しても大企業には有効かもしれないが、国民や大半の企業にとっては無縁のことであり、また、選挙のために消費税アップを先延ばししても景気には関係ないと思う。選挙で先延ばしの是非を問うなどは政治の本道ではないのではないのか。目先のことでなくもっと国家百年の計を考えた政策を打ち出して欲しいと思います。
	製造業（窯業・土石製品）	消費税の引き上げが延期されたが、今後消費にどれだけ上乘せになるのか。
	製造業（非鉄金属）	生産に対応する設備投資が増加している。
	建設業	当社の契約も大変厳しくなる様子。新たな見積り、引き合い、相談依頼が非常に少なくなってきています。毎日まめに訪問回数も増やしていますが、先方も経営者の留守が多くなっているので、飛び込み訪問では中々お会いできない。こんな状況は10年来ほとんどなかったかと思っています。また、異業種の集まりの会合でも欠席者が多い。
	建設業	マイナス金利のせいとか、銀行がいつも簡単に当社にとっては大金のお金を貸してくれた。手続きが面倒で、保証協会が何かと親の年金を借入れしてきたのが多かった。こんな簡単に借入れができるとは思わなかった。
	建設業	特に景気の良さを感じることはない。
	金融業	平成27年9月24日に土浦市役所が駅前ビルに移転したが、その経済効果への波及はない。平成28年3月1日に、土浦協同病院（病状数800床）が土浦市おおつ野に新築移転（診療科31、地上10階、駐車場約2,000台）し、人の流れに変化がみられる。土浦市中心部では、近場にある独立行政法人国立病院霞ヶ浦医療センターを利用する傾向にあるようだ。
不動産業	個人的な実態と法人化、デジタル化した業者の格差が大きく差が出ており、小さな業者さんは廃業したり貸貸部門から撤退している傾向が増えてきた。業者間のシェアがだんだん広がってきた。	
雇用	学校就職関係者	熊本地震直後は備蓄のためか、親戚への支援物資送付のためか、大型量販店で渋滞が見られた。
	求人開拓員	飲食業（外食産業）の求人が多く感じられる。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	水害により人口流出や、不動産の最低迷、購買意欲の落ち込み、先が不透明の経済が続いておりま す。また、なぜかトップに良い人材が集まらず、誰を信頼していけばいいのか分からない状況下で、 旧商店街が前向きに、意欲的に継続していくことが困難。個々の頑張りも限界にきている。
	商店街代表者	消費税10%が見送られました。都知事の公私混同、税金の無駄遣い等、茨城県知事も槍玉にあげられ たそうです。お客様との会話は行政不満が多いこの頃。この様子では、当分景気は良くならないと思 います。
	スーパー	常総市内にディスカウントストアが今年中に新店予定があり、より競争が激化すると思われる。
	スーパー	他業種の方との話でも、消費の落ち込みを口にする方が多い。
	専門スーパー	高齢者の健康を意識した商品がかなり伸びている。
	製茶販売	買い物してるのは、年配の人ばかり。余計な物など買う余裕はない。
	日本料理店	最近の若者は余り働く意欲もなく、結婚問題にも関心がない様子。少子化は益々酷くなるようで、先 行きの景気についても心配です。
	飲食業	好景況な話は聞こえない。
	都市型ホテル	中核病院等の建設が控えており、地域に沢山の職人の方が来ます。病院が完成すれば、市外、県外か らも病院利用者など増えますので、少しでも各個人店等が潤ってくれればと思っています。
	旅行代理店	洋服や靴などあまり安い物＝壊れやすい物となり、売れないようだ。お客様も「安物買いの銭失い」 にはなりたくない。お金を大切に使い、無駄遣いは止めている。少し高値でも良い物を永く使いたい と考える方が増えているように感じます。
	タクシー運転手	飲食店の店がだいぶ早い時間に閉めるため、タクシー利用の客が少ない。
建築設計事務所	ここでの仕事は改修ばかりで、新築などの新規立ち上げ話は政権が安定しそうなある国に向けて動き 出している。	
住宅販売会社	参院選後、経済対策がどのように動いていくか、その影響も少なからず出てくると思う。	
企業	農業関係者	マイナス金利の影響で預金していても、お客様にメリットがないことから預金残高が日々減少してい る。
	製造業（食料品）	取引している居酒屋（複数）が、客が大手チェーン店系列の店に流れているとぼやいている。主な原 因は単価が安いためと思われるとのこと。
	製造業（印刷・同関連業）	東京の知事ではないが、政治があまりにもお粗末すぎる。「政治は最高の道徳」と語られてきたが、 とんでもない。6月の参議院選より18歳から選挙投票できるが投票に行くのか。政治の悪さと若者の 事件（犯罪）、関係ないようであるのでは。地味にこつこつと頑張る意欲がなくなるのでは。
	製造業（印刷・同関連業）	鬼怒川水害の後、町から人影が消えてしまっている。さみしい限りです。賑わいを取り戻すことがで きるのか。
	製造業（印刷・同関連業）	景気と言えるか否か分からないが、若年層が近隣の比較的元気な地域、市町村に住む傾向があるが、 60代の両親が子の住む所に家を建てて移転するということがあった。生まれ育った地や家から新しい 場所に高齢者さえも移住する状況、いろいろと考えさせられる。
	製造業（窯業・土石製品）	コンビニエンスストアが新しく立地する一方で、廃業撤退する店が多いのが目に付きます。私から見 ればお客様がのって繁盛しているように思えても、実際はまったく真逆なのだ実感させられます。 簡単に開業、企業できる業態はすぐ閉店、廃業になるとの言葉はやはり本当だ。当を得た答えです ね。
	製造業（金属製品）	見事に多忙な会社と仕事量を減らしている会社の差ははっきりしてきたと思える。当地域に大手自動 車会社が移転してきましたが、同じ製造業でありながら、その恩恵はないことが判ってきました。や はり落胆は隠せないものがあります。
	建設業	熟練技術者の確保難、及び若い年代の減少。
	金融業	鉄筋加工業や土木建築業等の一部の企業では景気回復傾向にあるものの、いずれも都内の大手企業の 下請けであり、地元に着した企業での業績回復はみられない。ガソリン価格が上昇し始めており、 運送業では経費上昇により利幅は減少している。
	不動産業	当社の所在地、古河市は大手自動車会社が移転過程で賃貸、売買とも、需要が急増している。
サービス業（コンサルタント業）	飲食店の客数が増加しているような雰囲気がありますが、客単価は変わっていないようです。相変わ らず財布の紐は固いようです。	
雇用	求人広告	飲食店のお客様で売上げが伸び悩んでいると言われることが多い。そのため、求人にも間に合っている と返答されることが多い。いつもこの時期だと夏の繁忙期に求人の相談を受けるが、今年はその機会 が減ってきている。
	公共職業安定所	高卒求人受理説明会への参加事業者が昨年と比べ約10%増加した。